

カンガルーポー

Kangaroo paw

(*Anigozanthos* Labill.)

Black kangaroo-paw

(*Macropidia fuliginosa* (Hook.) Druce)

(案)

カンガルーポー審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準はハエモドルム科 (*Haemodoraceae*) のアニゴザントス属 (*Anigozanthos* Labill.) 及びマクロピディア属 (*Macropidia* J. Drumm. ex Harv.) のマクロピディア フリギノサ種 (*M. fuliginosa* (Hook.) Druce) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 15 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 10 個体
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 9 個体又は各個体から採取した部分 9 個とする。
 - 調査時期等 他に指示がない限り、開花盛期に調査する。特性表の調査方法の欄の(a)又は(b)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。
 - (a) ロゼットの中央部から完全展開した葉について調査する。
 - (b) 花筒の毛の色は、最大 3 色まで調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1 %、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 10 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 草丈 (形質 1)
- ii) 花序の分枝 (形質 8)
- iii) 花筒の色 (形質 15)
- iv) 花被の裂片の反転 (形質 20)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): VIIIに特性表の説明図等を示す

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々を測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々を観察記録

必須形質: 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質: 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (*) G	草丈	Plant: height	地際から株の最頂部までの高さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG	3 5 7	低 中 高	short medium tall	ピンク プリンセス レッドスター イエロースター	
2	2	QN (*)	花序の数	Plant: number of inflorescences	主花茎に着く花序の数	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		
3	3	QN	葉の長さ	Leaf: length	主花茎に着く最大葉の長さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	レッドスター イエロースター	
4	4	QN	葉の幅	Leaf: width	主花茎に着く最大葉の最大幅	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	レッドスター イエロースター	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	QN (*) (+)	葉の向き	Leaf: attitude	茎に対する葉基部の向き	観察 VG (a)	1 2 3	直立 半直立 半直立～水平	erect semi erect semi erect to horizontal		
6	6	QN	葉の光沢の強弱	Leaf: glaucosity	葉表面の光沢の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong		
7	7	QN (*)	葉の周縁の毛	Leaf: hairiness of margin	葉の周縁の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or weak medium strong	イエロースター <i>A.manglesii</i>	
8	8	QL G (*) (+)	花序の分枝	Inflorescence: ramification	花序の分枝の回数	観察 VG	1 2 3 4	無 1 回 2 回 3 回	absent primary secondary tertiary		
9	9	QN (*) (+)	花序の最下側枝の長さ	Inflorescence: length of lowest lateral branch	主花茎最下位に着く側枝の長さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
10	10	QN (*)	花序の花の数	Inflorescence: number of flowers	1 花序に着く 3 mm より長い花の数	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		

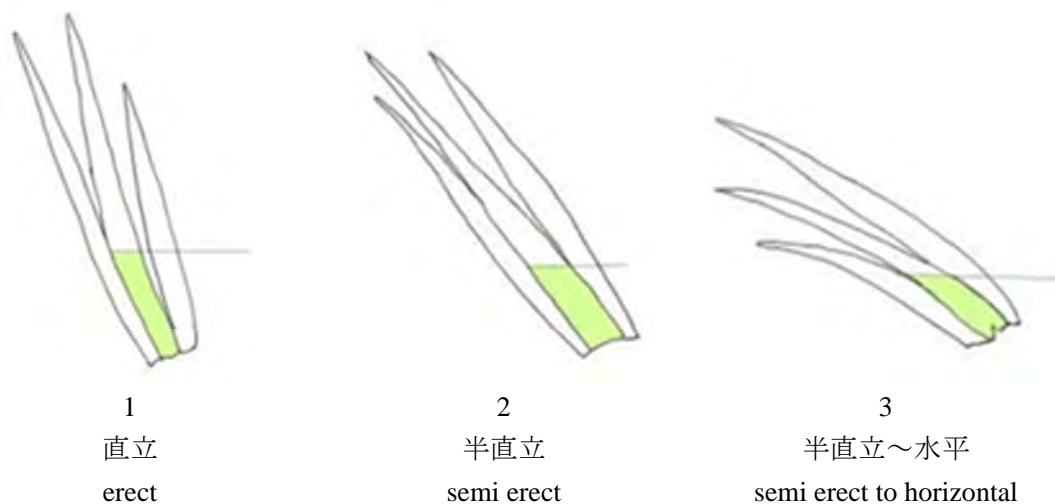
形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	PQ	花柄の毛の色	Pedice: color of hairs	花柄の毛の色	観察 VG		RHS カラーチャート の色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
12	12	QN (+)	花被筒部の長さ	Perianth tube: length	花被筒部の長さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	イエロースター	
13	13	QN (+)	花被筒部の幅	Perianth tube: width	花被筒部の幅	測定/ 観察 mm MG/ MS/ VG	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	イエロースター	
14	14	PQ (*) (+)	花被筒部の側面の形	Perianth tube: profile	花被筒部を側面から見た形	観察 VG	1 2 3 4 5	先端が広がる 均等に広がる 中央がすぼまる 平行 中央が広がる	flared distally broadening evenly constricted medially parallel expanded medially		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	PQG (*) (+)	花被筒部の色	Perianth tube: color	花被筒部の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	緑 黄 橙 桃 赤 紫 黒	green yellow orange pink red purple black		
16	16	QN	花被筒部の毛の色数	Perianth tube hair: number of colors	花被筒部の毛の色の数	観察 VG (b)	1 2 3	1 2 3	one two three		
17	17	PQ	花被筒部の毛の先端部の色	Perianth tube hair: color of upper third	花被筒部の毛の先端側 3 分の 1 の色	観察 VG (b)		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
18	18	PQ	花被筒部の毛の中央部の色	Perianth tube hair: color of middle third	花被筒部の毛の中央 3 分の 1 の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	黄白 緑 黄 橙 赤 赤紫 灰紫 青 黒	yellowish white green yellow orange red reddish purple greyed purple blue black		

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	花被の裂片の長さ	Perianth lobe: length	花被の最長裂片の長さ	測定/ 観察 mm MS/ VG	1 2 3	短 中 長	short medium long		
20	20	QNG (*) (+)	花被の裂片の反転	Perianth lobes: reflexing	花被の裂片の反転の強弱	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	イエロースター レッドスター アーリースプ [®] リンク [®]	
21	21	QL (*) (+)	やくの数	Flower: number of anthers at top of perianth	花被先端のやくの数	観察 VG	1 2 3	2本 4本 6本	two four six		
22	22	PQ	子房の毛の色	Ovary: color of hairs	子房表面の毛の色	観察 VG		RHS カラーチャート の色票番号に よる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
23	23	QN (+)	柱頭のやくに対する 位置	Flower: position of stigma in relation to anthers	柱頭のやくに対する位置	観察 VG	1 2 3	下位 同位 上位	below same level above		
24	24	QN	開花始期	Time of beginning of flowering	10株のうち4株で1花 以上開花した時期	観察 VG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	レッドスター イエロースター	

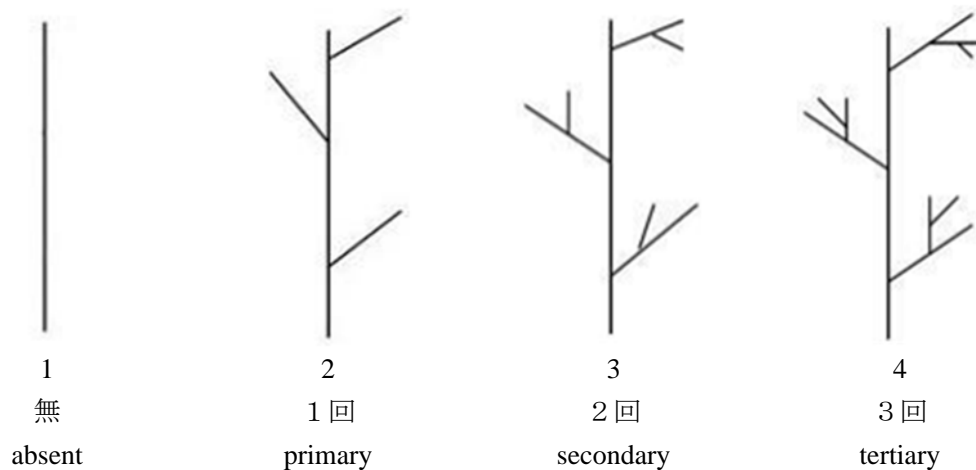
VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 5 葉の向き Char.5 Leaf: attitude



葉の向きは、葉基部の三分の一で観察する。 Observed on the basal third of the leaf.

形質 8 花序の分枝 Char.8 Inflorescence: ramification



形質 9 花序の最下側枝の長さ

Char.9 Inflorescence: length of lowest lateral branch

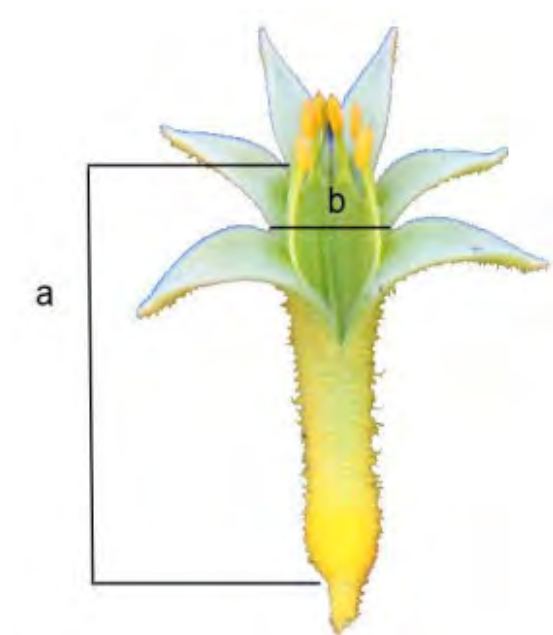


形質 12 花被筒部の長さ

Char.12 Perianth tube: length

形質 13 花被筒部の幅

Char.13 Perianth tube: width



a = 花被筒部の長さ

Perianth tube: length

b = 花被筒部の幅

Perianth tube: width

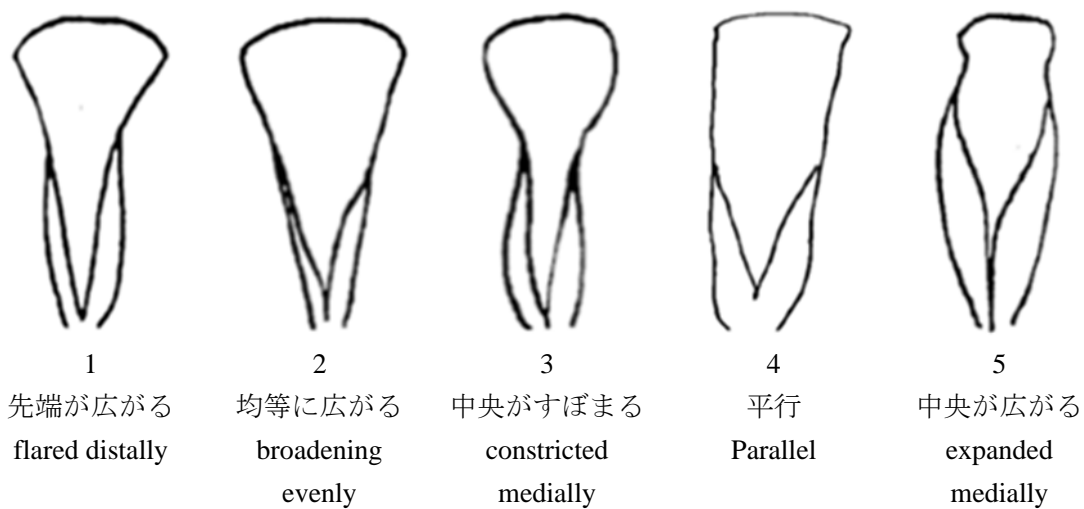
花被筒部の長さは、花被筒部の基部から一番上の花被の裂片の基部までの長さとする。

The distance from the base of the perianth tube to the base of the uppermost perianth lobe should be observed.

花被筒部の幅は、花被の裂片の基部における花被筒部の横断面の幅とする。

Cross sectional width of the perianth tube should be observed at the base of the perianth lobes.

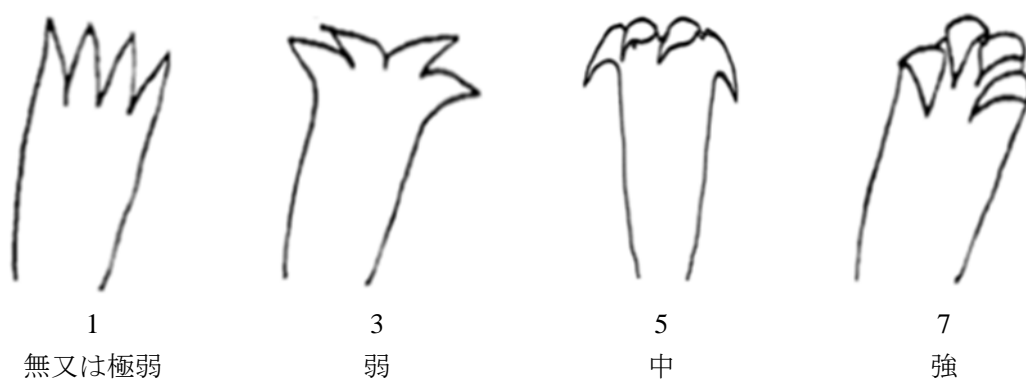
形質 14 花被筒部の側面の形 Char.14 Perianth tube: profile



形質 15 花被筒部の色 Char.15 Perianth tube: color

花被筒部の色は、色の全体的な印象とする。
The overall impression of color should be observed.

形質 20 花被の裂片の反転 Char.20 Perianth lobes: reflexing



形質 21 やくの数 Char.21 Flower: number of anthers at top of perianth



1
2 本
two



2
4 本
four



3
6 本
six

形質 23 柱頭のやくに対する位置

Char.23 Flower: position of stigma in relation to anthers



1
下位
below



2
同位
same level



3
上位
above

2026 年 月

TG/335/1 2020-12-17 に準拠

カラシナ種

Brown mustard

(*Brassica juncea* (L.) Czern.)

(案)

カラシナ種審査基準（案）

I. 審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、アブラナ科（Brassicaceae）アブラナ属（*Brassica* L.）のカラシナ種（*Brassica juncea* (L.) Czern.）の全ての品種に適用する。なお、本種と形態的に類似する交雑種については、本基準が適用可能か検討した上で用いる。

II. 提出種苗（Material Required）

- i) 種苗の形態 種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 10 g 又は 3,000 粒
種子は、発芽率、水分含量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施（Conduct of Tests）

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 60 個体（2 区制以上に分割）
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 30 個体又は各個体から採取した部分 30 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 全生育期間とし、それぞれの形質の評価は特性表の該当欄中に十進コード（00-89）で示される最適ステージに行う。それぞれの生育ステージの十進コードは「IX. 生育ステージに関する十進コード」表に記載。また、特性表の調査方法欄の下に記した記号がある場合は、以下に示した指示に基づいて調査を行う。
(a) 十分に発達した劣化していない典型的な葉で調査を行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、主に自家受粉する品種及び他家受粉により集団採取する品種においては、母集団標準 2%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 4 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 3 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 種子の色 (形質 1)
- ii) 葉の型 (形質 5)
- iii) 葉身の周縁部の鋸歯 (葉の型が全裂の品種を除く。) (形質 18)
- iv) 葉身の凹凸 (葉の型が全裂の品種を除く。) (形質 20)
- v) 中肋の幅 (葉の型が全縁の品種に限る。) (形質 21)
- vi) 球の形成の有無 (形質 23)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*): 品種記載の国際調和のための調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): VIIIに特性表の説明図等を示す

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質: 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質: 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL (*) G	種子の色	Seed: color	種子の表面の色 (提出 種子により判定)	観察 VG 00	1 2	黄 黒褐	yellow blackish brown	黄がらし菜 赤大葉高菜、 三池高菜	
2	2	QN	胚軸のアントシア ニンの着色	Hypocotyl: anthocyanin coloration	子葉完全展開時の胚軸 のアントシアニン着色 の強弱	観察 VG 10	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	TTK456 清国青菜 黄がらし菜	
3	3	QN (+)	子葉の長さ	Cotyledon: length	子葉完全展開時の子葉 の長さ	測定 mm MS 10	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	パーマグリーン かつお菜 清国青菜	
4	4	QN (+)	子葉の幅	Cotyledon: width	子葉完全展開時の子葉 の幅	測定 mm MS 10	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	純系山汐菜 黄がらし菜	
5	5	PQ (*) (+) G	葉の型	Leaf: type	葉の型	観察 VG (a) 19	1 2 3	全縁 裂縁 全裂	entire lobed divided	赤大葉高、結球高菜、 三池高菜、清国青菜、 さがみグリーン 黄がらし菜 アカリアス	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	PQ (*) (+)	葉の形	Leaf: shape	葉柄を除いた葉の形	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5 6	卵形 円形 楕円形 長楕円形 倒卵形 へら形	ovate circular elliptic oblong obovate spatulate	結球高菜 アカリアス かつお菜 黄がらし菜	
7	7	QN (*) (+)	葉の姿勢	Leaf: attitude	葉の姿勢（葉の基部の 開張の程度）	観察 VG 19	1 2 3 4 5	直立 やや直立 斜上 やや水平 水平	erect erect to semi-erect semi-erect semi-erect to horizontal horizontal	ちりめん葉からし菜 黄がらし菜 辛神	
8	8	QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	葉の長さ	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	短 中 長	short medium long	三池高菜 赤大葉高菜	
9	9	QN (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	三池高菜 かつお菜	
10	10	QN (*) (+)	葉柄の長さ	Leaf: length of petiole	葉柄の長さ	測定 cm MS (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	セリフォン 三池高菜	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	QN (+)	葉柄の幅	Leaf: width of petiole	葉柄の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	黄がらし菜 清国青菜	
12	12	QN (+)	葉身の先端小葉の 大きさ(葉の型が全 縁の品種を除く。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: lobed or divided:</u> Leaf blade: size of terminal lobe	葉全体に対する先端小 葉の大きさ	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	わさび菜 黄がらし菜 パーマグリーン	
13	13	QN (*)	葉身の側小葉の数	Leaf blade: number of lateral lobes	葉身の先端小葉を除い た側小葉の数	観察 VG (a) 19	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	赤大葉高菜 黄がらし菜 アカリアス、 TTK456	
14	14	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	葉身の裏面の毛の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or weak medium strong	三池高菜 わさび菜 黄がらし菜	
15	15	QN (*) (+)	葉身のアントシア ニンの着色	Leaf blade: anthocyanin coloration	葉身の表面のアントシ アニン着色の強弱	観察 VG (a) 19	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	結球高菜 三池高菜 TTK456	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	QN	葉身の緑色の濃淡(葉身のアントシアニンの着色が無又は極弱の品種に限る。)	<u>Only varieties with anthocyanin coloration:</u> <u>absent or very weak:</u> Leaf blade: intensity of green color	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a) 19	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	わさび菜 かつお菜	
17	17	QN (+)	葉身の周縁部の波打ち(葉の型が全裂の品種を除く。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: entire or lobed:</u> Leaf blade: undulation of margin	葉身の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	赤大葉高菜 かつお菜	
18	18	QN (*) (+) G	葉身の周縁部の鋸歯(葉の型が全裂の品種を除く。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: entire or lobed:</u> Leaf blade: density of incisions of margin	葉身の周縁部の鋸歯の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	かつお菜 黄がらし菜	
19		QN (+)	葉身の裂片の粗密(葉の型が全裂の品種に限る。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: divided:</u> Leaf blade: density of division	葉身の裂片の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	極粗 粗 中 密 極密	very sparse sparse medium dense very dense	TTK457 アカリアス TTK456 SM-1412 わさび菜	
20	19	QN (*) (+) G	葉身の凹凸(葉の型が全裂の品種を除く。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: entire or lobed:</u> Leaf blade: blistering	葉身の凹凸の強弱	観察 VG (a) 19	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	黄がらし菜 赤大葉高菜 かつお菜	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	20	QN (*) (+) G	中肋の幅 (葉の型が 全縁の品種に限る 。)	<u>Only varieties with leaf:</u> <u>type: entire;</u> Leaf blade: width of midrib	葉身の中肋の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	さがみグリーン かつお菜	
22		QN	葉数	Plant: number of leaves	収穫適期における株あ たりの着葉数	測定 MS 19- 30	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	結球高菜 SM-1412 黄がらし菜	
23	21	QL (*) (+) G	球の形成の有無	Plant: head formation	球の形成の有無	観察 VG 19- 30	1 9	無 有	absent present	黄がらし菜 結球高菜	
24	22	QN (+)	球の高さ	Head: height	球の高さ	測定 cm MS 19- 30	1 2 3	低 中 高	short medium tall	結球高菜、 雲仙結球高菜	
25	23	QN (+)	球の幅	Head: width	球の最大幅	測定 cm MS 19- 30	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad	結球高菜、 雲仙結球高菜	

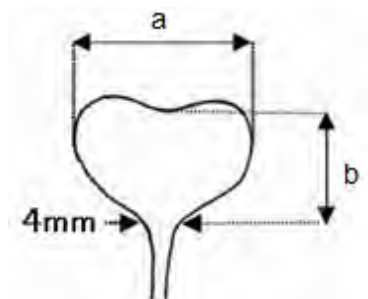
形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	24	QN	球の葉数	Head: number of leaves	1 球あたりの葉数	測定 MS 19- 30	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	結球高菜、 雲仙結球高菜	
27	25	PQ	球の内部の色	Head: internal color	球の内部の色	観察 VG 19- 30	1 2 3	黄白 淡緑 緑	yellowish white light green medium green	雲仙結球高菜	
28	26	PQ (+)	主茎の形	Main stem: shape	主茎の形	観察 VG 20- 29	1 2 3 4	狭円錐形 広円錐形 球形 分枝形	narrow conic broad conic rounded branched	黄がらし菜 海野 FE-K226	
29	27	QN	抽だい始期	Time of beginning of bolting	秋まき栽培における抽 だい開始の早晩（供試 株数の 50%が抽だいし た時期）	測定 月日 MG 31	3 5 7	早 中 晩	early medium late	黄がらし菜 アカリアス 赤大葉高菜	
30	28	QN	開花期（主茎の形が 分枝形の品種を除く。）	Time of flowering	開花開始の早晩（供試 株数の 50%が開花した 時期）	測定 月日 MG 50	3 5 7	早 中 晩	early medium late	さがみグリーン アカリアス 赤大葉高菜	
31	29	QN	植物体の高さ（主茎 の形が分枝形の品 種及び球の形成が 有の品種を除く。）	Plant: height	植物体の高さ	測定 cm MS 59	3 5 7	低 中 高	short medium tall	アカリアス 黄がらし菜	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	30	QN (+)	さやの長さ(主茎の 形が分枝形の品種 及び球の形成が有 の品種を除く。)	Silique: length	成熟したさや(長角果) の長さ	測定 mm MS 71- 79	3 5 7	短 中 長	short medium long	辛神 アカリアス	
33	31	QN (+)	さやのくちばしの 長さ(主茎の形が分 枝形の品種及び球 の形成が有の品種 を除く。)	Silique: length of beak	成熟したさや(長角果) のくちばしの長さ	測定 mm MS 71- 79	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	辛神 かつお菜 黄がらし菜	
34	32	QN (+)	さやの幅(主茎の形 が分枝形の品種及 び球の形成が有の 品種を除く。)	Silique: width	成熟したさや(長角果) の最大幅	測定 mm MS 71- 79	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	セリフォン アカリアス かつお菜	
35	33	QN (+)	果柄の長さ(主茎の 形が分枝形の品種 及び球の形成が有 の品種を除く。)	Silique: length of peduncle	成熟したさや(長角果) の果柄の長さ	測定 mm MS 71- 79	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	三池高菜 アカリアス	
36	34	QN (+)	春まき抽だい性	Tendency to form inflorescences	春まき栽培における抽 だい株の発生の程度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	パーマグリーン わさび菜 黄がらし菜	選 択 形 質

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 3 子葉の長さ Char.3 Cotyledon: length

形質 4 子葉の幅 Char.4 Cotyledon: width



a = 子葉の幅 Cotyledon: width

b = 子葉の長さ Cotyledon: length

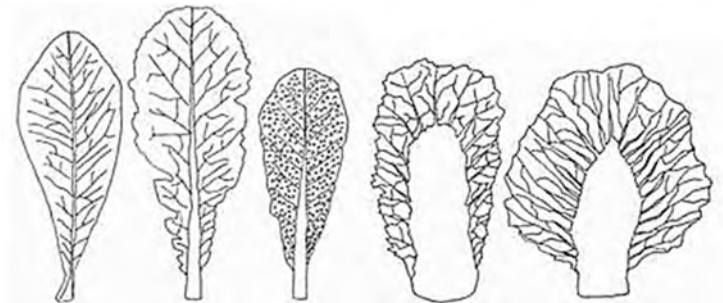
2つの子葉の大きさが異なる場合、大きい方の子葉を測定する。

子葉の長さは、先端部の一番下がった部分から、子葉柄の付け根まで、又は子葉柄の幅が約 4mm の部分までを測定する。子葉柄の付け根の境界が明確である場合、付け根までの長さの方を優先とする。

子葉の幅は、最大幅部を測定する。

Observations should be made on cotyledons of 30 seedlings. If the two cotyledons differ in size, the biggest one should be measured. The length is defined as distance between the inclination at top of the cotyledon and the point where the width of the petiole is about 4 mm. The width of the cotyledon should be measured at the widest point of the cotyledons.

形質 5 葉の型 Char.5 Leaf: type



1
全縁
entire









2
裂縁
lobed



3
全裂
divided

形質 6 葉の形 Char.6 Leaf: shape

		最大幅部の位置		
		基部側	中央部	先端部側
葉身の長さ／幅	大		 <p>4 長楕円形 oblong</p>	 <p>6 へら形 spatulate</p>
	中	 <p>1 卵形 ovate</p>	 <p>3 楕円形 elliptic</p>	 <p>5 倒卵形 obovate</p>
	小		 <p>2 円形 circular</p>	

形質 7 葉の姿勢 Char.7 Leaf: attitude



1
直立
erect



3
斜上
semi-erect



5
水平
horizontal

形質 8 葉の長さ Char.8 Leaf: length

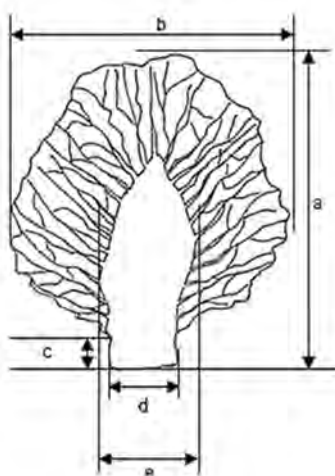
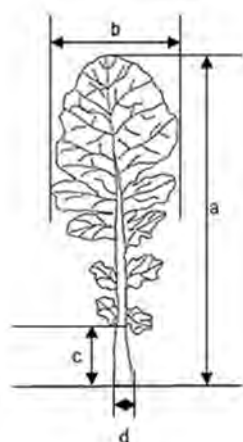
形質 9 葉の幅 Char.9 Leaf: width

形質 10 葉柄の長さ Char.10 Leaf: length of petiole

形質 11 葉柄の幅 Char.11 Leaf: width of petiole

形質 21 中肋の幅 (葉の型が全縁の品種に限る。)

Char.21 Only varieties with leaf: type: entire: Leaf blade: width of midrib



- a = 葉の長さ
Leaf: length
- b = 葉の幅
Leaf: width
- c = 葉柄の長さ
Leaf: length of petiole
- d = 葉柄の幅
Leaf: width of petiole
- e = 中肋の幅
Leaf blade: width of midrib

葉柄の長さは、全縁の品種については、葉基部から葉身までの長さ、裂縁及び全裂の品種については、葉基部から最も基部側の側小葉までの長さを測定する。なお、側小葉については後述する形質 12「葉身の先端小葉の大きさ (葉の型が全縁の品種を除く。)」を参照。

中肋の幅は、葉柄を除く葉身の主脈部分の最大幅部を測定する。

The length of the petiole should be measured from the base of leaf to the leaf blade for entire varieties, and the length from the base of leaf to the most basal lateral leaflet side for lobed and divided varieties. For lateral leaflet, see the characteristic 12 "Only varieties with leaf: type: lobed or divided: Leaf blade: size of terminal lobe".

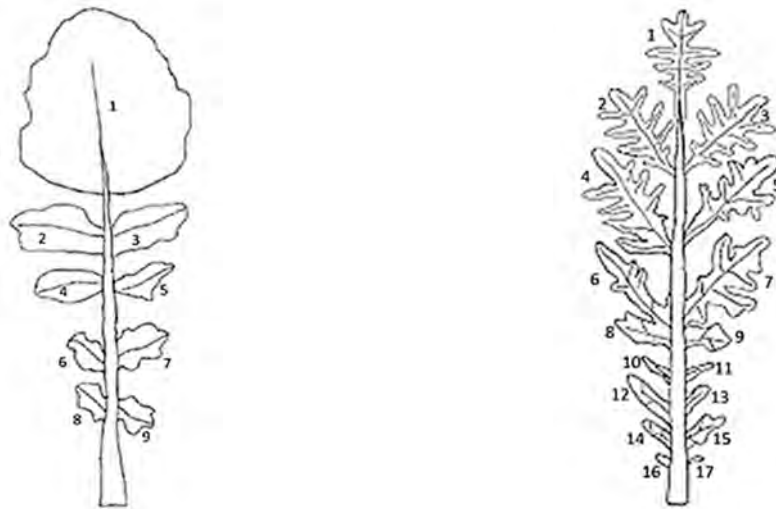
The width of midrib should be measured on the broadest width of the main vein of the leaf blade excluding the petiole.

形質 12 葉身の先端小葉の大きさ（葉の型が全縁の品種を除く。）

Char.12 Only varieties with leaf: type: lobed or divided: Leaf blade: size of terminal lobe

先端小葉は葉の頂端の小葉で、下図の番号 1 の小葉。

側小葉は先端小葉を除く小葉で、下図の番号 2 以下の小葉。



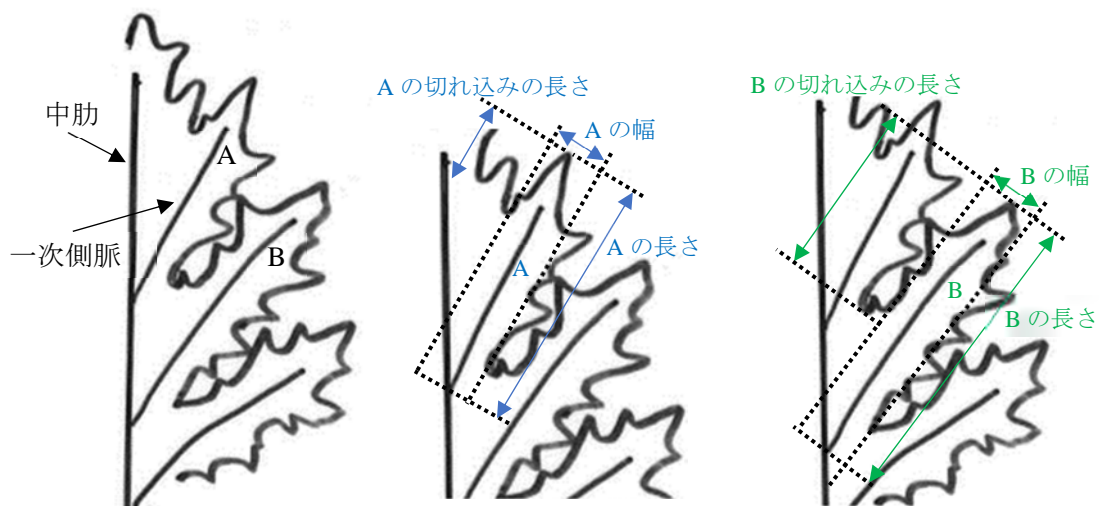
葉身の一部である裂片または主脈に着生する小葉において、明瞭な一次側脈があり、小葉の長さが幅よりも大きく、直上の切れ込みの深さが小葉自身の長さの半分以上あるものを側小葉とする。

下図の場合、A は側小葉とせず、先端小葉の一部とする。B は側小葉とする。

Parts of the leaf blade are considered as lobes if their length is at least equivalent to the width of the leaf petiole at their point of attachment and if the upper notch of the blade has at least half the length of the lobe itself.

The terminal lobe is the top lobe of the leaf, which is the No. 1 lobe in the following figure.

The lateral lobes are the lobes excluding the terminal lobe (numbers 2, 3, 4, etc. in the following figures)

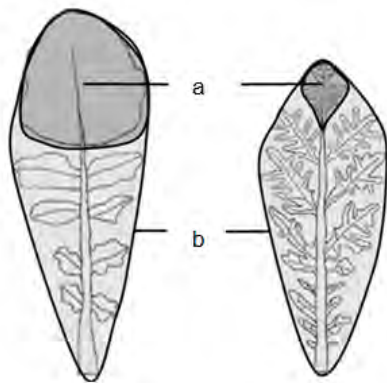


先端小葉の大きさは、葉の大きさに対する比率によって評価する。

先端小葉の大きさと葉の大きさは、下図の各輪郭で囲まれた領域の大きさとする。

The size of terminal lobe should be assessed by the ratio of the terminal lobe size/the leaf size.

The terminal lobe size and the leaf size are the size of the area which was surrounded by each outline of them.



a = 先端小葉の大きさ Terminal lobe size

b = 葉の大きさ Leaf size

形質 15 葉身のアントシアニンの着色

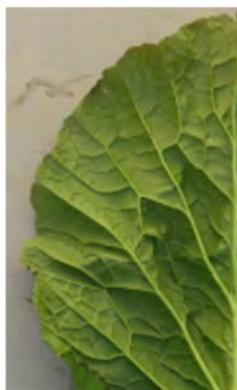
Char.15 Leaf blade: anthocyanin coloration

試験区全体を観察し、アントシアニン着色が典型的な葉身について、最もアントシアニンが濃い部分を評価する（葉の着色範囲を評価するのではない）。

The strongest intensity of anthocyanin should be observed (not the extent).

形質 17 葉身の周縁部の波打ち（葉の型が全裂の品種を除く。）

Char. 17 Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: undulation of margin



2
弱
weak



3
中
medium



5
極強
very strong

形質 18 葉身の周縁部の鋸歯（葉の型が全裂の品種を除く。）

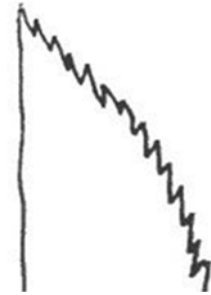
Char.18 Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: density of incisions of margin



2
粗
sparse



3
中
medium

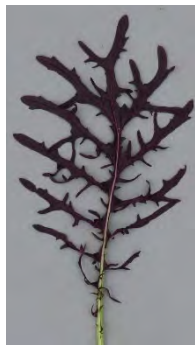


4
密
dense

先端小葉の先端側 1/2 を観察する。

形質 19 葉身の裂片の粗密（葉の型が全裂の品種に限る。）

Char.19 Only varieties with leaf: type: divided: Leaf blade: density of division



1
極粗
very sparse



2
粗
sparse



3
中
medium



4
密
dense



5
極密
very dense

形質 20 葉身の凹凸（葉の型が全裂の品種を除く。）

Char.20 Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: blistering



1
無又は弱
absent or weak



2
中
medium



3
強
strong

形質 23 球の形成の有無

Char.23 Plant: head formation



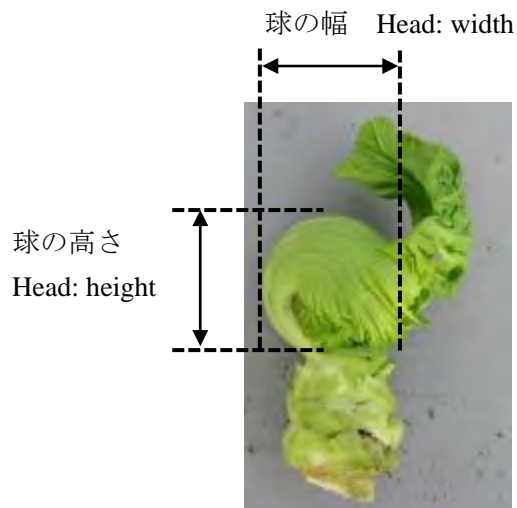
1
無
absent



9
有
present

形質 24 球の高さ Char.24 Head: height

形質 25 球の幅 Char.25 Head: width



形質 28 主茎の形 Char.28 Main stem: shape



1
狭円錐形
narrow conic



2
広円錐形
broad conic



3
球形
rounded



4
分枝形
branched

葉を取り除いて主茎の形状を観察する。地際から発生している側枝は評価しない。
調査期間を通して形状の変化を観察し、品種の特性が十分に発現した時期に評価する。
Observations on the shape of the main stem should be made after removing the leaves, excluding lateral stems which are located at the base of main stem.

形質 32 さやの長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）

Char.32 Silique: length

形質 33 さやのくちばしの長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）

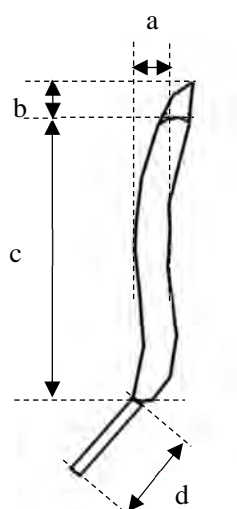
Char.33 Silique: length of beak

形質 34 さやの幅（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）

Char.34 Silique: width

形質 35 果柄の長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）

Char.35 Silique: length of peduncle



a = さやの幅 Silique: width

b = さやのくちばしの長さ Silique: length of beak

c = さやの長さ Silique: length

d = 果柄の長さ Silique: length of peduncle

さやの調査は、主茎の花序の中央 1/3 部分に着生するさやで行う。

さやの長さについては、くちばしを除いたさやの先端から果柄の着生部までの長さを測定する。

Observations on the silique should be made on the middle third of the inflorescence of the main stem.

Observations should be made on the length of the silique from attachment of peduncle to top, excluding beak.

形質 36 春まき抽だい性 Char.36 Tendency to form inflorescences

長日条件下の春まき栽培にて、は種を行い、抽だい株の発生時期の早晩と発生頻度により評価する。

Observations should be made in the year of sowing under long day conditions.

The observation of the tendency to form inflorescence (proportion of plants below bud stage, in bud stage, in flowering stage, in stage of silique formation) should be made in autumn, when the development stagnates.

Alternatively, the beginning of flowering may be observed in this trial; early flowering would mean strong tendency, late flowering would mean weak tendency.

IX. 生育ステージに関する十進コード表

コード code	一般記述 General Description	コード code	一般記述 General Description
<u>00</u>	乾燥種子		
<u>0</u>	発芽	<u>5</u>	開花
<u>1</u>	葉の展開	50	1 番花が開花
10	子葉の展開	51	主茎の花序が伸長、10%が開花
11	第 1 葉の展開	53	主茎の花序の 30%が開花
13	第 3 葉の展開	55	主茎の花序の 50%が開花（満開）、古い花弁が落下
15	第 5 葉の展開	57	花序の花が減少、ほとんどの花弁が落下
17	第 7 葉の展開	59	花序の花弁が全て落下
19	第 9 葉以上の葉が展開		
<u>2</u>	側枝の形成	<u>6</u>	さやの発達
20	側枝の発生無し	61	10%のさやが最終サイズに到達
21	第 1 側枝の発生	63	30%のさやが最終サイズに到達
23	第 3 側枝の発生	65	50%のさやが最終サイズに到達
25	第 5 側枝の発生	67	70%のさやが最終サイズに到達
27	第 7 側枝の発生	69	ほぼすべてのさやが最終サイズに到達
29	第 9 側枝以上の側枝が発生		
<u>3</u>	茎の伸長	<u>7</u>	種子の登熟
30	節間無し（ロゼット）	71	10%のさやが成熟
31	茎 1 節目の伸長	73	30%のさやが成熟
33	茎 3 節目の伸長	75	50%のさやが成熟
35	茎 5 節目の伸長	77	70%のさやが成熟
37	茎 7 節目の伸長		
39	茎 9 節目以上が伸長	79	ほぼすべてのさやが成熟
<u>4</u>	花序の形成	<u>8</u>	老化
40	花蕾の発生（葉に包まれている状態）	87	植物体の枯死
41	花蕾の出現	89	収穫物（種子）
42	花蕾が分離し、若葉と同程度の高さ		
43	花蕾が若葉より高い位置となる		
45	第 1 花序の個々の花蕾が未開花		
47	第 2 花序の個々の花蕾が未開花		
49	花弁が見え始めるが、花蕾は完全に開いていない状態		

カンキツ属 (マンダリン類)

(Citrus L.-Group1)

MANDARINS

(案)

カンキツ属（マンダリン類）審査基準

I. 審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全て品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗（Material Required）

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は 1 年生苗木
- ii) 数量 10 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施（Conduct of Tests）

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(f)で示した時期に行う。
 - (a) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は頂小葉） について調査する。
 - (b) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。
 - (c) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (d) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後 3～7 日の間に皮をむいて調査する。
 - (e) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
 - (f) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添え

て申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1 %、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 のとき、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 果実の長さ (形質28)
- ii) 果実の直径 (形質29)
- iii) 果実の果梗部のネックの有無 (形質34)
- iv) 果皮の表面の色 (形質61)
- v) 成熟期 (形質109)
- vi) 成熟期 (ウンシュウミカン種に限る。) (形質 110)

VI. 特性表で使用する記号の説明(Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus amblycarpa</i> (Hassk.) Ochse	HMA	ジェロウクリモー
<i>Citrus benikoji</i> hort. ex Tanaka	PMN	ベニコウジ
<i>Citrus chuana</i> hort. ex Tseng	PMN	ー
<i>Citrus clementina</i> hort. ex Tan.	CLE	クレメンティン
<i>Citrus crenatifolia</i> Lush.	PMN	
<i>Citrus deliciosa</i> Ten.	MMM	チチュウカイマンダリン
<i>Citrus depressa</i> Hayata	HMA	シークワシャー
<i>Citrus genshokan</i> (Hayata) hort. ex Tanaka	PMN	ゲンショウカン
<i>Citrus hainanensis</i> Tanaka	HMA	ハイナンワイルドカット
<i>Citrus haniana</i> hort. ex Tseng	PMN	ー
<i>Citrus ichangensis</i> Swing. x <i>C. reticulata</i> Blanco	HMR	イーチャンダリン
<i>Citrus ichangensis</i> Swing. x <i>C. unshiu</i> (Mak.) Marc.	HMR	イーチャンダリン
<i>Citrus inflata</i> hort. ex Tanaka	HMA	モチユ
<i>Citrus inflatorugosa</i> hort. ex Tanaka	HMA	カーフクルー
<i>Citrus junos</i> Sieb. ex Tanaka	HMR	ユズ
<i>Citrus keraji</i> hort. ex Tanaka	HMA	ケラジ
<i>Citrus leiocarpa</i> hort. ex Tanaka	HMA	コウジ
<i>Citrus lycopersicaeformis</i> (Lush.) hort. ex Tanaka	HMA	コクニー
<i>Citrus madurensis</i> Lour.	HMA	シキキツ
<i>Citrus maxima</i> (Burm.) Merr. x <i>C. ichangensis</i> Swing.	HMR	イーチャンゼロ
<i>Citrus nippokoreana</i> Tanaka	HMA	コウライタチバナ
<i>Citrus nobilis</i> Lour.	HMA	クネンボ
<i>Citrus oto</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	オートー
<i>Citrus paratangerina</i> hort. ex Tanaka	PMN	ラドー
<i>Citrus platymamma</i> hort. ex Tanaka	PMN	ビンキツ
<i>Citrus pseudo-aurantium</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	ヘンカミカン

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus pseudosunki</i> hort. ex Tanaka	HMA	フィリピンスンキー
<i>Citrus reshni</i> hort. ex Tanaka	HMA	クレオパトラ
<i>Citrus reticulata</i> Blanco	PMN	ポンカン
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>C. paradisi</i> Macfad	TNL	タンゼロ
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	TNR	タンゴール
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>Fortunella</i> sp.	HMR	クマンダリン
<i>Citrus sphaerocarpa</i> Hort. ex Tanaka		カボス
<i>Citrus suavissima</i> hort. ex Tanaka	PMN	オウカン
<i>Citrus succosa</i> hort. ex Tanaka	PMN	ジミカン
<i>Citrus sudachi</i> Hort. ex Shirai	HMR	スダチ
<i>Citrus suhuiensis</i> hort. ex Tanaka	PMN	シカイカン
<i>Citrus sunki</i> (Hayata) hort. ex Tanaka	HMA	サンキツ
<i>Citrus tangerina</i> hort. ex Tanaka	PMN	ダンシー (オオベニミカン)
<i>Citrus tardiferax</i> hort. ex Tanaka	PMN	マンキツ
<i>Citrus tardiva</i> hort. ex Shirai	HMA	ギリミカン
<i>Citrus tarogayo</i> hort. ex Yu. Tanaka	HMA	タロガヨ
<i>Citrus temple</i> hort. ex Y. Tan. x <i>C. paradisi</i> Macfad	HMA	(テンプル×グレープフルーツ)
<i>Citrus temple</i> hort. ex Yu. Tanaka	TNR	テンプル
<i>Citrus tumida</i> hort. ex Tanaka	HMA	フクレミカン
<i>Citrus unshiu</i> Marcow.	SAT	ウンシュウミカン
<i>Citrus yatsushiro</i> hort. ex Tanaka	HMA	ヤツシロ
<i>Citrus yuko</i> hort. ex Tanaka	HMA	ユコウ
Tangelo x <i>C. paradisi</i> Macfad	HMA	タンゼロロ
Tangor x <i>C. temple</i> hort. ex Y. Tan.	HMA	(タンゴール×テンプル)

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid		
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の 樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ユズ、不知火 興津早生、せとか、は るみ 清見	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	興津早生、はるみ 清見、不知火 せとか、ユズ	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ (とげのある品種 に限る。)	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、不知火 せとか ユズ	
5	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユズ、ボンカン 清見、せとか、不知火、 はるみ、興津早生 カラ	
6	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 5)	成葉の葉身の最大 幅	測定 cm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	不知火、ボンカン せとか、はるみ、ユズ、 興津早生 カラ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 5)	成葉の葉身の長さ と幅の比	測定 比 (a) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	はるみ、せとか、興津早 生 清見、不知火	
8	8	QN	葉身の横断面の 形	Leaf blade: shape in cross section (as for 5)	成葉の葉身中央部 の横断面の形	観察 (a) VG	1 2 3	平又はやや内 曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
9	9	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじ れの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
10	10	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の 凹凸の強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
11	11	QN	葉身の緑色の濃 淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の 緑色の濃淡	観察 (a) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
12	12	QN	葉身の周縁の波 打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の 波打ちの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	せとか ユズ、はるみ、不知火、 興津早生 清見、シキキツ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	PQ	葉身の周縁の鋸 歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の 鋸歯の形	観察 (a) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	ユズ 清見、不知火、はるみ、 せとか、興津早生	
14	14	PQ (+)	葉身の先端部の 形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部 の形	観察 (a) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ユズ、清見 はるみ、せとか、不知 火、興津早生	
15	15	QL (+)	葉身の先端の切 れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の 切れ込みの有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present		
16	16	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キウミカン、ポンカン 清見、せとか、はるみ、 不知火、興津早生 ユズ	
17	17	QL	葉柄の翼葉の有 無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生 する翼葉の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	シキキツ、タチバナ ユズ、清見、はるみ、せ とか、不知火、興津早生	
18	18	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with</u> <u>petiole wings present</u> <u>only</u> : Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生 する翼葉の幅	測定 mm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	清見、はるみ、せとか、 不知火、興津早生 スダチ、カボス ユズ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (b) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
20	20	QN	花卉の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、せとか 不知火 ユズ、興津早生	
21	21	QN	花卉の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	キウミカン 清見、はるみ、せとか、 不知火 ユズ、興津早生	
22	22	QN	花卉の長さ／幅	Flower: ratio length/ width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	清見、はるみ せとか、不知火、ユズ 興津早生	
23	23	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、せとか はるみ、不知火、興津早生 ユズ	
24	24	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (b) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	清見 せとか、不知火、興津早生 はるみ、ユズ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	QN (+)	花粉の稔性	Anther: viable pollen	稔性花粉の割合の 高低	測定 (b) MS	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high		
26	26	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の 長さ	観察 (b) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、ユズ せとか、不知火 興津早生	
27	27	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果序） の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
28	28	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キウミカン ユズ、はるみ、せとか、 興津早生 清見、不知火	
29	29	QN (*) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	キウミカン せとか、はるみ、興津早 生 清見、不知火、ユズ	
30	30	QN (*)	果実の長さ／直 径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径 の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	青島温州 ユズ、はるみ、せとか、 興津早生 不知火	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QN (*)	果実の最大幅の 位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最 大幅の位置	観察 (c) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ユズ、清見、せとか、不 知火、興津早生 はるみ	
32	32	PQ (+)	果実の横断面の 形	Fruit: shape in transverse section	果実の横断面の形	観察 (c) VG	1 2 3	円 やや角張る 波状	circular somewhat angular scalloped	せとか ユズ、清見、はるみ、不 知火、興津早生 キシュミカン	
33	33	PQ (*) (+)	果実の果梗部の 形（ネック、カ ラー及び梗あは 含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (c) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	ユズ、せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火	
34	34	QL (*) (+) G	果実の果梗部の ネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネ ックの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、はるみ、せとか、 興津早生、清見、不知火 カラ、ビンキツ	
35	35	QN	果実の果梗部の ネックの長さ	<u>Necked varieties</u> <u>only</u> : Fruit: length of neck	果実の果梗部のネ ックの直径	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラ、クレメンティン ビンキツ	
36	36	QN	果実の果梗部の ネックの厚さ	<u>Necked varieties</u> <u>only</u> : Fruit: thickness of neck	果実の果梗部のネ ックの厚さ	観察 (c) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無 (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、不知火、興津早生	
38	38	QN	果実の果梗部のへこみの深さ (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ユズ、清見 はるみ、不知火、興津早生	
39	39	QL (+)	果実の果梗部のくびれの有無	Fruit: presence of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	
40	40	QN	果実の果梗部のくびれの強弱	Fruit: expression of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの強弱	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
41	41	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少がない	観察 (c) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火 ユズ	
42	42	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果頂部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	QN	果実の果梗部のへこみ（ネックが有の品種に限る。）	<u>Necked varieties</u> only: Fruit: depression at stalk attachment	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は浅 中 深	absent or shallow intermediate deep		
44	44	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火	
45	45	QN	果実の果梗部のカラーの高さ	Fruit: height of collar	果実の果梗部のカラーの高さ	観察 (c) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
46	46	QN	果実の果梗部のカラーの直径	Fruit: diameter of collar	果実の果梗部のカラーの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
47	47	QN	花盤と果実の間の離層	Fruit: abscission layer between floral disc and fruit	花盤と果実の間の離層の発達の強弱	観察 (c) VG	1 2 3	無又は弱く発達 中間 強く発達	absent or weakly developed intermediate strongly developed		
48	48	QN (*) (+)	果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。)	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (c) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ユズ、はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	QL (*) (+)	果実の果頂部の へこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへ こみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、興 津早生	
50	50	QN	果実の果頂部の へこみの深さ	Fruit: depth of depression at distal end	果実の果頂部のへ こみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
51	51	QN	果実の果頂部の へこみの直径	Fruit: diameter of depression at distal end	果実の果頂部のへ こみの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
52	52	QL (*)	果実の果頂部の 凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環 状模様の明瞭さ	観察 (c) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	はるみ、不知火、興津早 生 清見、せとか、ユズ、姪 バナ オータニック	
53	53	QL (+)	果実の果頂部の 凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹 環の状態（凹環の 明瞭さが無の品種 を除く。）	観察 (c) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	清見、せとか 姪バナ ユズ、オータニック	
54	54	QN	果実の果頂部の 凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹 環の直径（凹環の 明瞭さが無の品種 を除く。）	測定 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	姪バナ ユズ、清見、せとか オータニック	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	QN	果実の花柱痕の 大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花 柱痕の直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ユズ、 清見、はるみ、せとか、 興津早生 不知火	
56	56	PQ	花柱の果実への 残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残 存の程度	観察 (c) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
57	57	PQ	果実の果頂部の へその開きの有 無	Fruit: presence of navel opening	果実の果頂部のへ その開きの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無 たまに有 常に有	absent occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、興 津早生 不知火、せとか サンキツ	
58	58	QN	果実の果頂部の へその開きの大 きさ	Fruit: diameter of navel opening	果実の果頂部のへ その開きの直径 (開きが無の品種 を除く。)	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
59	59	QL	果実の果頂部の 放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放 射状溝の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、せとか、興 津早生 はるみ、不知火、ポンカン	
60	60	QN	果実の果頂部の 放射状溝の明瞭 さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放 射状溝の明瞭さ (放射状溝が有の 品種に限る。)	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	61	PQ (*) G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の 主な色	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 濃橙 橙赤 赤	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange medium orange dark orange orange red red	ユズ 不知火 清見、はるみ、せとか、 興津早生 オータニック、マーコット 小原紅早生	
62	62	QN (*)	果実の表面の光 沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の 光沢の程度	観察 (c) (d) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ユズ はるみ、興津早生 マーコット シキツ	
63	63	QN	果実の表面の粗 滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の 粗滑の程度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	はるみ、興津早生 清見 ユズ、不知火	
64	64	PQ	果実の表面の油 胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の 油胞の大きさ	観察 (c) (d) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に 大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	ユズ、はるみ、せとか、 不知火、興津早生 清見	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QN	果実の表面の大 油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部 の大油胞の大きさ (油胞の大きさが ほぼ斉一の場合を 含む。)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
66	66	QN	果実の表面の大 油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部 の大油胞の目立つ 程度 (大きさがほ ぼ斉一の場合を含 む。)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	クレメンティン	
67	67	PQ	果実の表面の油 胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部 の油胞の凹凸の有 無	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	清見、せとか ユズ はるみ、不知火、興津早 生	
68	68	QN	果実の表面の凹 型油胞の密度 (凹型油胞のあ る品種に限 る。)	<u>Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部 の凹型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
69	69	QN	果実の表面の凸 型油胞の密度 (凸型油胞のあ る品種に限 る。)	<u>Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present</u> <u>only</u> : Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部 の凸型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
70	70	QN	果実の表面の凸 型油胞の突出の 強弱 (凸型油胞 のある品種に限 る。)	<u>Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present</u> <u>only</u> : Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部 の凸型油胞の突出 の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
71	71	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果 皮の厚さ	観察 (c) (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	せとか、興津早生 はるみ ユズ、清見、不知火	
72	72	QN (*)	果皮と果肉の密 着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果 肉の分離の難易	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、興津早生 清見、不知火、せとか カボス、オターク	
73	73	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ (硬 さ、ちぎれにく さ)	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、興津早生 清見、せとか、不知火 オターク	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	74	QN	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から 出る油の多少	観察 (c) (d) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	興津早生、スダチ 清見、せとか、はるみ ユズ	
75	75	QN	果皮の裏面の油 胞の明瞭さ	Fruit rind: conspicuousness of oil glands on inner surface	果皮の裏側から見 た油胞の明瞭度	観察 (c) (d) VG	1 2 3	無又はわずかに明瞭 中 明瞭	absent or weakly conspicuous intermediate strongly conspicuous		
76	76	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (c) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 桃 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	ユズ 清見、はるみ、不知火、 興津早生 せとか	
77	77	QN	アルベドの粗密	Fruit: density of albedo	アルベドの粗密の 程度	観察 (c) VG	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	はるみ、不知火、興津早 生 ユズ、清見、せとか カボス、オタニーク	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
78	78	QN (*)	果実の果肉と密着するアルベドの量（維管束は除く。）	Fruit: amount of albedo adhering to flesh (strands excluded)	剥皮時に果肉に残るアルベドの量	観察 (c) VG	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	タチバナ はるみ、不知火、せとか、興津早生 清見、ジキツ カボス	
79	79	QL	アルベドの維管束の有無	Fruit: presence of albedo strands	アルベドの維管束の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
80	80	QN	アルベドの維管束の量	Fruit: amount of albedo strands	アルベドの維管束の多少	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	small medium large		
81	81	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (c) (e) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 淡緑 淡黄 黄 淡橙 橙 濃橙 赤 紫	whitish light green light yellow medium yellow light orange medium orange dark orange red purple	ユズ タチバナ 清見、不知火、はるみ せとか、興津早生、マーコット	

形質番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
82	82	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (c) (e) VG	1 3 5 7 9	無又は粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	はるみ、不知火、興津早生 ユズ、清見、せとか マーコット オータニック	
83	83	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (c) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	マーコット、ジキツ、タチバナ ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火	
84	84	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	測定 (c) (e) MS	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか、興津早生	
85	85	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (c) (e) VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	ジキツ、タチバナ ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか	
86	86	QN	じょうのう膜の密着性	Fruit: coherence of adjacent segment walls	隣接したじょうのう膜どうしの密着の強弱	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、不知火、興津早生 せとか 清見	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
87	87	QN	じょうのう膜の 強さ	Fruit: strength of segment wall	食べた時のじょう のう膜の硬さの程 度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、せとか、興津早 生 ユズ、清見、不知火、青 島温州 オータニク	
88	88	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	シキツ、チバナ ユズ、はるみ、不知火、 興津早生 清見、せとか	
89	89	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	シキツ、チバナ ユズ、清見、せとか、興 津早生 はるみ、不知火	
90	90	QN	さじょうの明瞭 さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の 明瞭さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
91	91	QN	さじょうの密着 性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの 密着の程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
92	92	PQ (*)	果実内部の二次 果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果 (ネーブル) の有 無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は極希 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、せ とか、興津早生 不知火、ノバ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93	93	QN	果実内部の二次 果の大きさ	Fruit: size of navel (viewed internally)	果実内部の二次果 (ネーブル) の大 きさ (二次果がな い品種を除く。)	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
94	94	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ポンカン ユズ、清見、はるみ、不 知火、せとか、興津早生	
95	95	QN (*)	果汁の可溶性固 形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形 分の含量 (Brix)	測定 % (c) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	興津早生 清見 せとか、はるみ、不知火	
96	96	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度 (クエ ン酸)	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	興津早生、クメンティン せとか 清見、はるみ、不知火 カラ スダチ、ユズ、カボス	
97		QN	果汁の酸度 (ウ ンシュウミカン 種に限る。)	<u>Only Subgroup</u> SAT: Fruit juice: acidity	果汁の酸度 (クエ ン酸)	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑 20 号、させぼ温州、青 島温州	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
98	97	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、清見、不知火、せとか、興津早生 はるみ、ポンカン	
99	98	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	クレメンティン	
100	99	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7	無又は極少 小 中 多	absent or very few few medium many	興津早生 清見、はるみ、せとか、不知火 ポンカン ユズ、カラ、マーコット	
101	100	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (f) VG	1 9	無 有	absent present	清見 ユズ、はるみ、不知火、せとか	
102	101	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (f) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	シキヅ 清見、はるみ、せとか、不知火 ユズ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
103	102	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (f) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	キシュミカン、クレメンティン 清見、はるみ、せとか ユズ、不知火	
104	103	QL	種子の表面の状 態	Seed: surface	成熟種子の表面の 状態	観察 (f) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
105	104	QN	種子の表面のし わの強弱	<u>Varieties with seed:</u> <u>surface wrinkled</u> <u>only</u> : Seed: prominence of wrinkles	種子の表面のしわ の強弱	観察 (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
106	105	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の 色	観察 (f) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	タチバナ ユズ、清見、はるみ、不 知火、せとか	
107	106	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮 の色	観察 (f) VG	1 2 3 4	白 淡黄 淡褐 褐	white light yellow light brown medium brown	ユズ、清見、不知火、せ とか はるみ、シキキツ、タチ バナ	

形質 番号	U P O V №	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							5 6 7	濃褐 赤 紫	dark brown red purple		
108	107	PQ	子葉の色（種子 の多胚性が有の 品種に限る。）	Only varieties with <u>seed:</u> <u>polyembryony</u> <u>present:</u> Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の 色	観察 (f) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	ユズ はるみ、不知火、クレメンティ ン、せとか タチバナ	
109	108	QN (*) G (+)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色し て食味が最も良 くなったと考えら れる時期	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late	興津早生 ユズ ポンカン はるみ、せとか 清見、不知火	

形質番号	UPOV No	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							8 9	かなり晩 極晩	late to very late very late	カラ	
110		QN (*) G	成熟期（ウンシ ュウミカン種に 限る。）	<u>Only Subgroup</u> <u>SAT</u> : Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色し て食味が最も良く なったと考えられ る時期	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	日南 1 号 ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑 20 号、させぼ温州 青島温州	
111	109	QL (*)	単為結果性の有 無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	
112	110	QL (+)	自家不和合性の 有無	Plant: self- incompatibility	自家不和合性の 有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	クレメンティン	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: Growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 14 葉身の先端部の形 Char.14 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

形質 15 葉身の先端の切れ込みの有無

Char.15 Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent



9
有
present

形質 25 花粉の稔性 Char.25 Anther: viable pollen

稔性花粉の割合を決定する方法

Method to determine the percentage of viable pollen:

花粉は、花弁が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20～48 時間置く。やくが開いたらこれを 8℃ のチャンバーに移し、相対湿度 70～80% で 1 時間保存する。その後花粉を 2 ml の Brewbacker 培地 (Brewbaker and Kwock, 1963) を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24℃ のチャンバーに入れ、相対湿度 75% で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、2 枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で観察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8℃ chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24℃ chamber with a 75 % RH for 20 hours.

The percentage of pollen fertility is calculated as the average of germinated pollen grains observed with a binocular in 15 visual fields from 2 different microscope slides.

(Brewbaker, J.L. and Kwack, B.H. 1963. The essential role of calcium ion in pollen germination and pollen tube growth. Amer. Jour. Botany. 50: 859-865.)

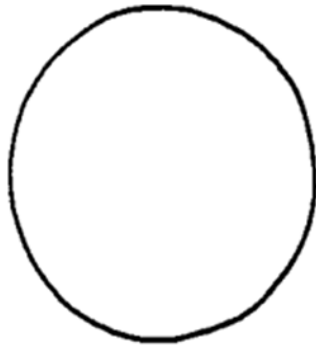
各階級の範囲

Percentage range indication for the states of expression:

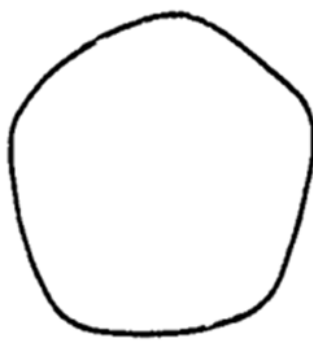
標準品種	階級	範囲
Owari (SAT)	1	$1 \leq 7\%$
	2	$> 7 \leq 14\%$
	3	$> 14 \leq 21\%$
	4	$> 21 \leq 28\%$
Marisol (CLE)	5	$> 28 \leq 35\%$
	6	$> 35 \leq 45\%$
Murcott (HMA)	7	$> 45 < 55\%$
	8	$> 55 < 65\%$
Fortune (HMA)	9	$\geq 65\%$

形質 32 果実の横断面の形

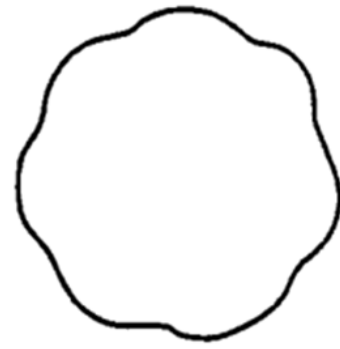
Char.32 Fruit: shape in transverse section



1
円
circular



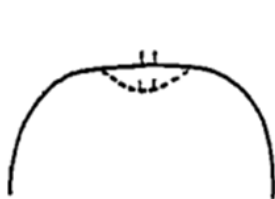
2
やや角張る
somewhat angular



3
波状
scalloped

形質 33 果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.33 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1
平
flattened



2
やや円
slightly rounded



3
円
strongly rounded



4
先細
tapered

形質 34 果実の果梗部のネックの有無

Char. 34 Fruit: presence of neck



1
無
absent



9
有
present

形質 37 果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.37 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



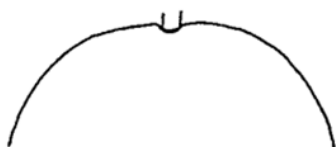
1
無
absent



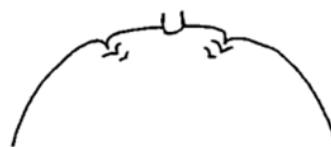
9
有
present

形質 39 果実の果梗部のくびれの有無

Char.39 Fruit: presence of constriction at stalk end



1
無
absent



9
有
present

形質 44 果実の果梗部のカラーの有無

Char.44 Fruit: presence of collar



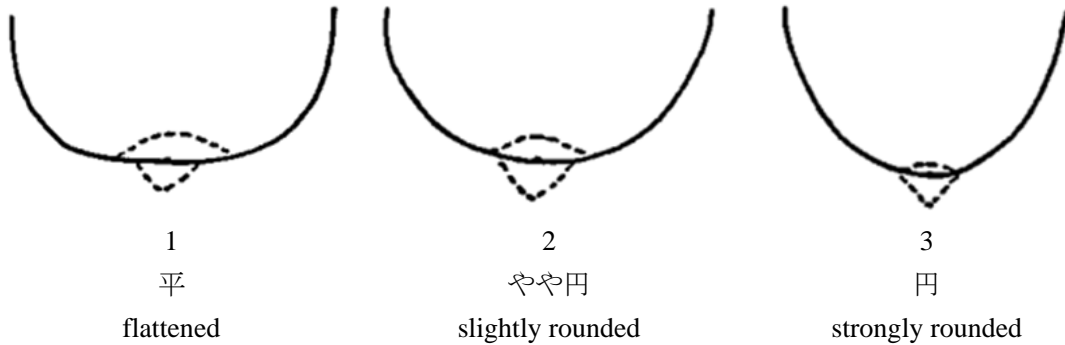
1
無
absent



9
有
present

形質 48 果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。)

Char.48 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



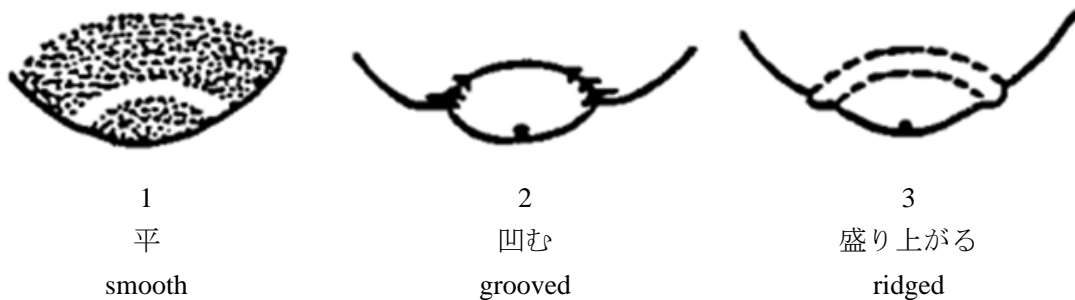
形質 49 果実の果頂部のへこみの有無

Char.49 Fruit: presence of depression at distal end



形質 53 果実の果頂部の凹環のタイプ

Char.53 Fruit: type of areola



形質 99 自家受粉の場合の種子数

Char.99 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 100 自然受粉の場合の種子数 Char.100 Fruit: number of seeds (open pollination)

‘Open pollination’は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 112 自家不和合性の有無 Char.112 Plant: self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

2026 年 月

TG/203/1 Rev. Corr. 2003-04-09 + 2015-03-25 + 2020-02-25 に準拠

カンキツ属
(レモン及びライム類)
(*Citrus* L. - Group 3)
LEMONS and LIMES
(案)

カンキツ属（レモン及びライム類）審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科 (*Rutaceae*) カンキツ属 (*Citrus* L.) の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は 1 年生苗木
- ii) 数量 10 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(h)で示した時期に行う。
 - (a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。
 - (b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は先端小葉）について調査する。
 - (c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について開花初日に調査する。
 - (d) つぼみに関する形質は、つぼみが開く直前で花卉の先端が見えたときに調査する。
 - (e) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (f) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後 3～7 日の間に皮をむいて調査する。

- (g) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
- (h) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 若葉のアントシアニン着色の有無 (形質 5)
- ii) 果実の長さ (形質 32)
- iii) 果実の果梗部のネックの有無 (形質 37)
- iv) 果実の果頂部の乳頭状突起の有無 (形質 42)
- v) 果実の表面の色 (形質 49)

VI. 特性表で使用する記号の説明

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus assamensis</i> S. Dutta & S.C. Bhattach.	LEM	アダジャミー
<i>Citrus aurantiifolia</i> (Christm.) Swingle	SAL	ライム
<i>Citrus aurata</i> Risso	LEM	スイートライム
<i>Citrus balotina</i> Poit. & Turpin	LEM	バロチンベルガモット
<i>Citrus bergamia</i> Risso & Poit.	SAL	ベルガモット
<i>Citrus davaoensis</i> (Wester) Tanaka	SAL	カルピー
<i>Citrus duttae</i> Tanaka	LEM	ハシュクリー
<i>Citrus excelsa</i> Wester	SAL	レモンリアル
<i>Citrus hyalopulpa</i> Tanaka	SAL	セキロクカン
<i>Citrus jambhiri</i> Lush.	LEM (RLM)	ラフレモン
<i>Citrus javanica</i> Blume	SAL	ジェロークハンジ
<i>Citrus karna</i> Raf.	LEM	カルナカッタ
<i>Citrus latifolia</i> (Yu. Tanaka) Tanaka	SAL (LAL)	タヒチライム
<i>Citrus limetta</i> Risso	LEM	スイートライム
<i>Citrus limettioides</i> Tanaka	SAL (SWL)	スイートライム
<i>Citrus limon</i> (L.) Burm. f.	LEM	レモン
<i>Citrus limon</i> (L.) Burm. x <i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	HLL	(レモン×ライム)
<i>Citrus limonia</i> Osbeck	LEM	ヒメレモン
<i>Citrus longilimon</i> Tanaka	LEM	アッサムレモン
<i>Citrus longispina</i> Wester	SAL	タラミサン
<i>Citrus lumia</i> Risso & Poit.	LEM	ルミー
<i>Citrus macrolimon</i> Tanaka	LEM	ガルガルラージ
<i>Citrus megaloxycarpa</i> Lush.	LEM	アミルベッド
<i>Citrus mellarosa</i> Risso	LEM	メラローサ
<i>Citrus meyeri</i> Yu. Tanaka	LEM	マイヤーレモン
<i>Citrus montana</i> (Wester) Tanaka	SAL	ビロロ
<i>Citrus obversa</i> Hassk.	SAL	ジェロークバリック
<i>Citrus ovata</i> Hassk.	SAL	ジェロークタンジェン グブーラー
<i>Citrus papaya</i> Hassk.	SAL	ジェロークパパヤ
<i>Citrus peretta</i> Risso	LEM	ペレッタ
<i>Citrus pseudolimon</i> Tanaka	LEM	ヒルレモン
<i>Citrus pseudolimonum</i> Wester	SAL	フォールスレモン

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid	ヒメモン、リスボン、ラフレモン、マ イヤー、璃の香 タヒチライム	
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の樹 の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	リスボン タヒチライム、ラフレモン、マイヤー、 璃の香 ヒメモン	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	マイヤー、ハロチンベルカモット リスボン、ヒメモン、璃の香 タヒチライム、ラフレモン	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（と げのある品種に限 る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	タヒチライム、ヒメモン、璃の香 リスボン、マイヤー ラフレモン	
5	5	QL (*) G	若葉のアントシ アニン着色の有 無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニ ン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	スイートライム タヒチライム、リスボン、ヒメモン、ラ フレモン、マイヤー、璃の香	
6	6	QN	若葉のアントシ アニン着色の強 弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニ ン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	タヒチライム、ラフレモン マイヤー、璃の香 リスボン、ヒメモン	
7	7	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タヒチライム、ヒメモン、ラフレモン、マ イヤー、璃の香 リスボン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 7)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヒルモン タヒチライム、ラフレモン、マイヤー、 璃の香 リスボン	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 7)	成葉の葉身の長さ と幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	スイートライム タヒチライム、リスボン、ラフレモン、 マイヤー ヒルモン、璃の香	
10	10	QN	葉身の横断面の 形	Leaf blade: shape in cross section (as for 7)	成葉の葉身中央部の 横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや 内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
11	11	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれ の強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
12	12	QN	葉身の緑色の濃 淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑 色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
13	13	QN	葉身の周縁の波 打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波 打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	マイヤー、ラフレモン タヒチライム、ヒルモン、リスボン、璃 の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	PQ	葉身の周縁の鋸 歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸 歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	タチライム リスボン、ラフレモン、マイヤー、ヒメ モン、璃の香	
15	15	PQ (+)	葉身の先端部の 形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の 形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	リスボン タチライム、璃の香、マイヤー、ヒ メモン ラフレモン、パロチンベルカモット	
16	16	QL (+)	葉身の先端の切 れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切 れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
17	17	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	璃の香 ヒメモン、リスボン、ラフレモン、マ イヤー タチライム、ビロロ	
18	18	QL	葉柄の翼葉の有 無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	リスボン、ラフレモン、マイヤー タチライム、ヒメモン、璃の香	
19	19	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with petiole wings present only:</u> Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	タチライム、ヒメモン、璃の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QL	つぼみのアントシアニン着色の有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、リスボン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
21	21	QN	つぼみのアントシアニン着色の強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	タチライム リスボン、ラフレモン、璃の香 ヒメモン、マイヤー	
22	22	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
23	23	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム、ヒメモン、ラフレモン リスボン、マイヤー、璃の香	
24	24	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	タチライム ヒメモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
25	25	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さ／幅の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ラフレモン、マイヤー タチライム、ヒメモン リスボン、璃の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの 長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム ヒメモン、ラフレモン、マイヤー、璃の 香 リスボン	
27	27	QL	雄ずいの基部の 融合の有無	Flower: basal union of stamens	雄ずいの基部の融合 の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、リスボン、ヒメモン、ラ フレモン、マイヤー、璃の香	
28	28	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	タチライム、璃の香 リスボン、ヒメモン、ラフレモン、マイ ヤー	
29	29	QL	花粉の稔性の有 無	Anther: viable pollen	稔性花粉の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
30	30	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長 さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム ヒメモン、ラフレモン、マイヤー リスボン、璃の香	
31	31	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果房）の 有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
32	32	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (e) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヒメモン マイヤー、ラフレモン リスボン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	QN (*)	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒメモン、タチライム マイヤー、ラフレモン リスボン、璃の香	
34	34	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定 比 (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒメモン、ラフレモン タチライム、マイヤー、璃の香 リスボン	
35	35	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (e) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	リスボン、ヒメモン、ラフレモン、マイヤー タチライム、璃の香	
36	36	PQ (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (e) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	タチライム、ヒメモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
37	37	QL (*) (+) G	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	スイートライム タチライム、リスボン、ヒメモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
38	38	QN	果実の果梗部のネックの長さ	<u>Necked varieties only</u> : Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	(e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無 (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、マイヤー リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、璃の香	
40	40	QN	果実の果梗部のへこみの深さ (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、璃の香	
41	41	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。)	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (e) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ヒメルモン、ラフレモン、璃の香 リスボン、タチライム、マイヤー	
42	42	QL (*) (+) G	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	Fruit: presence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
43	43	QN	果実の乳頭状突起の突出の強弱	Fruit: prominence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の突出の強弱	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	マイヤー、璃の香 ヒメルモン、 リスボン、ラフレモン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	QN	果実の花柱痕の 大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱 痕の直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒレモン、璃の香 タヒチライム、ラフレモン、マイヤー リスボン	
45	45	PQ	花柱の果実への 残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存 の程度	観察 (e) VG	1 2 3	無 部分的に残 る 全体が残る	none partial total		
46	46	QL	果実の果頂部の 放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射 状溝の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	マイヤー タヒチライム、リスボン、ヒレモン、ラ フレモン、璃の香	
47	47	QN	果実の果頂部の 放射状溝の明瞭 さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射 状溝の明瞭さ（放射 状溝が有の品種に限 る。）	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
48	48	QL	果皮色の複色の 有無	Fruit: color variegation	果皮の色の複色性 （斑、アントシアニ ン等）の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	タヒチライム、リスボン、ヒレモン、 ラフレモン、マイヤー、璃の香	
49	49	PQ G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の 主な色	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4 5	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange	タヒチライム リスボン、璃の香 ビロロ マイヤー	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50	QN (*)	果実の表面の光 沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の 光沢の程度	観察 (e) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ヒメレモン タチチライム、リスボン、ラフレモン マイヤー、璃の香	
51	51	QN	果実の表面の粗 滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の 粗滑の程度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	タチチライム、マイヤー、璃の香 リスボン、ヒメレモン ラフレモン	
52	52	PQ	果実の表面の油 胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の 油胞の大きさ	観察 (e) (f) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中 に大油胞が 散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	タチチライム、リスボン、ラフレモン、ヒ メレモン、璃の香 マイヤー	
53	53	QN	果実の表面の大 油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の 大油胞の大きさ（油 胞の大きさがほぼ斉 一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
54	54	QN	果実の表面の大 油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の 大油胞の目立つ程度 （油胞の大きさがほ ぼ斉一の場合を含 む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	ヒメレモン、マイヤー、璃の香 タヒチライム、リスボン、ラフレモン	
56	56	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pitting present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
57	57	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	タヒチライム、ヒメレモン マイヤー、璃の香 リスボン、ラフレモン	
58	58	QN (*)	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から出る油の多少	観察 (e) (f) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	タヒチライム、ラフレモン、マイヤー リスボン、ヒメレモン、璃の香	
59	59	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (e) (g) VG	1 2 3	淡緑 淡黄 ピンク	light green light yellow medium pink	タヒチライム リスボン、璃の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (e) (g) VG	1 3 5 7 9	無又は極疎 疎 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ラフレモン ヒメルモン、マイヤー、璃の香 リスボン、タヒチライム	
61	61	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (e) (g) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	タヒチライム、ヒメルモン リスボン、マイヤー、璃の香 ラフレモン	
62	62	QN	不完全じょうの うの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (e) (g) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	タヒチライム、リスボン、ヒメルモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
63	63	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (e) (g) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ヒメルモン タヒチライム、リスボン、マイヤー、ラフレモン 璃の香	
64	64	QN	じょうのう膜の 強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ヒメルモン、璃の香 タヒチライム、リスボン、マイヤー、ラフレモン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ビロロ タチライム、ヒメモン、ラフレモン リスボン、マイヤー、璃の香	
66	66	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ヒメモン タチライム、リスボン、マイヤー、璃の香 ラフレモン、ビロロ	
67	67	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
68	68	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
67	69	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (e) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	タチライム、リスボン、ヒメモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
70	70	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量 (Brix)	測定 % (e) MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	タチライム、リスボン、ヒメモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (e) MG	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	スイートライム ヒメルモン ラフレモン、璃の香 タチライム、リスボン、マイヤー	
72	72	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ラフレモン、マイヤー タチライム、リスボン、ヒメルモン、璃の香	
73	73	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	タチライム	
74	74	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (e) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many	タチライム、ヒメルモン 璃の香 リスボン、 ラフレモン、マイヤー	
75	75	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (h) VG	1 9	無 有	absent present	ヒメルモン、マイヤー、璃の香 リスボン、ラフレモン	
76	76	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性（開花期が年に2回以上）の有無	観察 VG	1 2	1回のみ 2回以上	flowering once flowering more than once	ヒメルモン、マイヤー タチライム、リスボン、ラフレモン、璃の香	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	77	QN (*)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食 味が最も良くなったと 考えられる時期	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ヒルモン、璃の香 リスボン、ラフレモン、マイヤー	
78	78	QL (*)	単為結果性の有 無	Fruit: parthenocarp	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	タヒチウム	
79	79	QL (+)	自家不和合性の 有無	Plant: self- incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	タヒチウム	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 15 葉身の先端部の形 Char.15 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形



4
円形

形質 16 葉身の先端の切れ込みの有無

Char.16 Leaf blade: emargination at tip



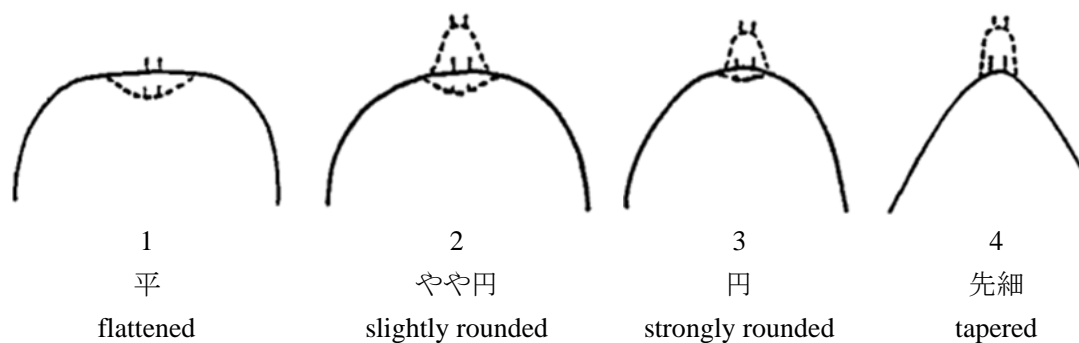
1
無
absent



9
有
present

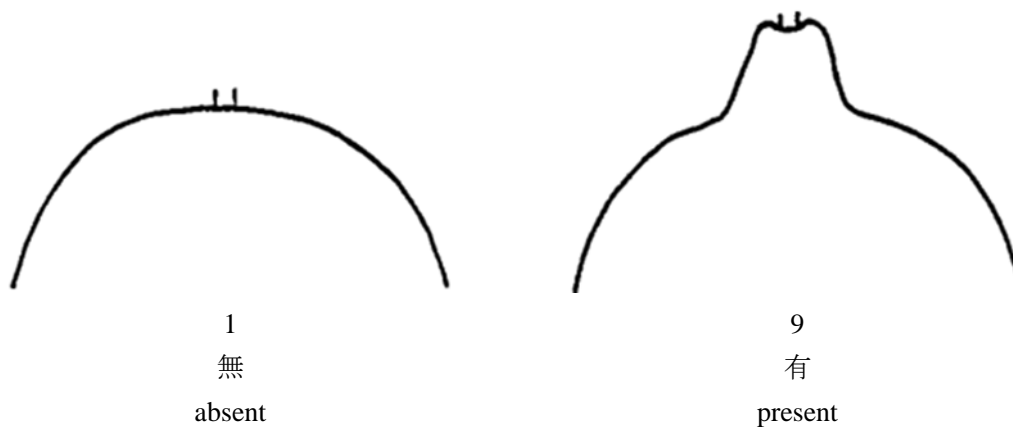
形質 36 果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.36 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



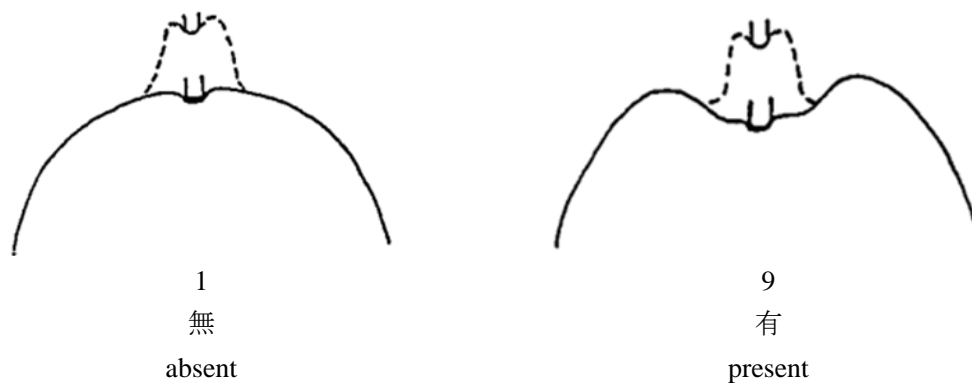
形質 37 果実の果梗部のネックの有無

Char.37 Fruit: presence of neck



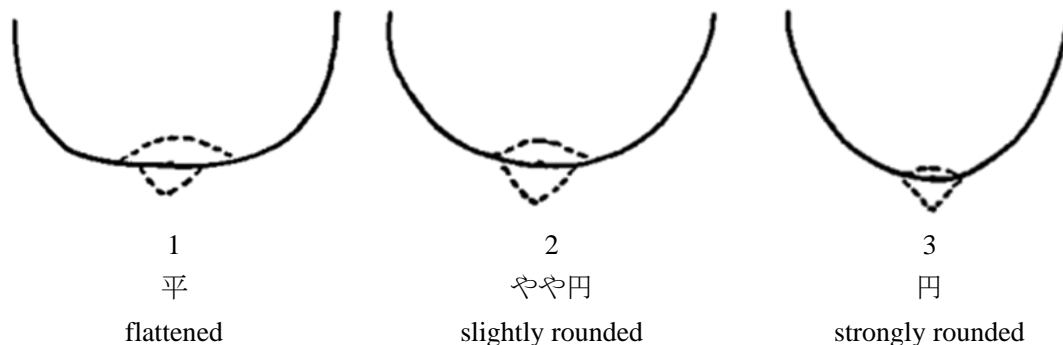
形質 39 果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.39 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



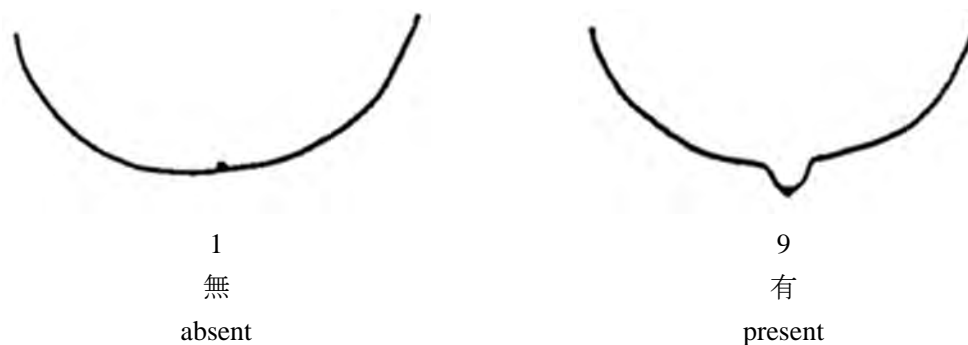
形質 41 果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。）

Char.41 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal part)



形質 42 果実の果頂部の乳頭状突起の有無

Char.42 Fruit: presence of nipple



形質 73 自家受粉の場合の種子数

Char.73 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 74 自然受粉の場合の種子数

Char.74 Fruit: number of seeds (open pollination)

Open pollination は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 79 自家不和合性の有無

Char.79 Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

カンキツ属
(グレープフルーツ
及びブンタン類)

(*Citrus* L. - Group 4)

GRAPEFRUIT and POMMELO

(案)

カンキツ属（グレープフルーツ及びブンタン類）審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科 (*Rutaceae*) カンキツ属 (*Citrus* L.) の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は 1 年生苗木
- ii) 数量 10 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(h)で示した時期に行う。
 - (a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。
 - (b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は先端小葉）について調査する。
 - (c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。
 - (d) つぼみに関する形質は、つぼみが開く直前で花卉の先端が見えたときに調査する。
 - (e) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (f) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。
 - (g) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
 - (h) 種子に関する形質は、収穫した果実からの新鮮な種子で調査する。

- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1 %、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 果実の長さ (形質 33)
- ii) 果実の直径 (形質 34)
- iii) 果実の表面の色 (形質 50)
- iv) 果肉の色 (形質 67)
- v) 成熟期 (形質 92)

VI. 特性表で使用する記号の説明

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus ampullacea</i> hort. ex Tan.	GRA	ヒョウカン
<i>Citrus anonyma</i> hort. ex Yu. Tan.	GRA	シレンボー
<i>Citrus asahikan</i> hort. ex Tanaka	GRA	アサヒカン
<i>Citrus aurantiaca</i> hort. ex Tanaka	GRA	セキオオカン
<i>Citrus flavicarpa</i> hort. ex Tanaka	GRA	マエダカン
<i>Citrus glaberrima</i> hort. ex Tanaka	GRA	キヌカワ

<i>Citrus grandis</i> (L.) Osbeck	PUM	ブンタン(<i>C. maxima</i> の同義語)
<i>Citrus hassaku</i> hort. ex Tanaka	GRA	ハッサク
<i>Citrus himekitsu</i> Hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ヒメキツ
<i>Citrus hiroschimana</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ヒロシマナツザボン
<i>Citrus intermedia</i> hort. ex Tanaka	GRA	ヤマミカン
<i>Citrus iwaikan</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	イワイカン
<i>Citrus kotokan</i> Hayata	GRA	コトウカン
<i>Citrus maxima</i> (Burm.) Merr.	PUM	ブンタン
<i>Citrus medioglobosa</i> hort. ex Tanaka	GRA	ナルト
<i>Citrus miaray</i> Wester	GRA	ミアライ
<i>Citrus mitsuharu</i> Hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ミツハル
<i>Citrus natsudaikai</i> Hayata	GRA	ナツミカン
<i>Citrus obovoidea</i> hort. ex I. Takah	GRA	キンコウジ
<i>Citrus omikanto</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	オオミカントウ
<i>Citrus otachibana</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	オオタチバナ
<i>Citrus panuban</i> (Wester) Tanaka	PUM	パニユバン
<i>Citrus paradisi</i> Macfad.	GRA	グレープフルーツ
<i>Citrus paradisi</i> Macfad. x <i>C. grandis</i> (L.) Osbeck	HGP	(グレープフルーツ×ブンタン)
<i>Citrus pseudograndis</i> hort. ex Shirai	PUM	ウゾクネブ
<i>Citrus pseudogulgul</i> hort. ex Shirai	PUM	ジャガタラミ
<i>Citrus pseudoparadisi</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ウクボメロ
<i>Citrus rugulosa</i> hort. ex Tanaka	GRA	ー
<i>Citrus suizabon</i> Tan.	PUM	スイザボン
<i>Citrus sulcata</i> hort. ex Tak.	GRA	サンボウカン
<i>Citrus tengu</i> hort. ex Tanaka	GRA	テング
<i>Citrus tosa-asahi</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	トサアサヒ
<i>Citrus truncata</i> hort. ex Tanaka	PUM	カイコウカン
<i>Citrus yamabuki</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ヤマブキ
<i>Citrus yuge-hyokan</i> hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ユゲヒョウカン

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2	二倍体	diploid	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑、 オプランド	
							3 4	三倍体 四倍体	triploid tetraploid		
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の樹の形	観察 VG	1 2	直立 開張	upright spreading	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑	
							3	下垂	drooping	ヒョウカン	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	平戸文旦、八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、大橘 絹川	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 絹川	
5	5	QL (*)	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
7	7	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヒョウカン、ヤマブキ、サンボウカン 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
8	8	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 7)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヒョウカン、ヤマブキ、サンボウカン 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 7)	成葉の葉身の長さとの幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	晩白柚、平戸文旦、八朔、大橘、ヤマブキ、サンボウカン 絹川、河内晩柑、ヒョウカン 川野夏橙	
10	10	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 7)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
11	11	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
12	12	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN	葉身の緑色の濃 淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑 色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
14	14	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	成葉の葉身裏面の毛 じの程度	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	平戸文旦、絹川、八朔、川 野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚	
15	15	QN	葉身の周縁の波 打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波 打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川、 八朔、川野夏橙、大橘	
16	16	PQ	葉身の周縁の鋸 歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸 歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	晩白柚、平戸文旦、大橘、 絹川、八朔、川野夏橙 河内晩柑	
17	17	PQ (+)	葉身の先端部の 形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の 形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ヤマカン 平戸文旦、絹川、八朔、川 野夏橙、河内晩柑 大橘 晩白柚	
18	18	QL (+)	葉身の先端の切 れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切 れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	河内晩柑 平戸文旦、川野夏橙、八朔、 絹川 晩白柚、大橘	
20	20	QL	葉柄の翼葉の有 無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、川野夏 橙、八朔、絹川、大橘、河 内晩柑	
21	21	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with petiole wings present only:</u> Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	川野夏橙、河内晩柑、絹川 平戸文旦、八朔 晩白柚、大橘	
22	22	QL	つぼみのアント シアニン着色の 有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシア ニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、川野夏 橙、八朔、絹川、大橘、河 内晩柑	
23	23	QN	つぼみのアント シアニン着色の 強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシア ニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
24	24	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	川野夏橙 八朔、河内晩柑、大橘、ヤマシロ 晩白柚、平戸文旦、絹川	
26	26	QN	花弁の幅	lower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヤマシロ 八朔、川野夏橙、河内晩柑、大橘 晩白柚、平戸文旦、絹川	
27	27	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さとの比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	平戸文旦、川野夏橙 晩白柚、絹川、八朔、大橘、河内晩柑 ヤマシロ	
28	28	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
29	29	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑	
30	30	QN (+)	花粉の稔性	Anther: pollen viability	稔性花粉の割合の高低	測定 (c) MS	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	マーシュグ [®] レーブ [®] フルーツ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	平戸文旦、川野夏橙 晩白柚、絹川、八朔、大橘、 河内晩柑	
32	32	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果房）の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
33	33	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (e) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	八朔 絹川、川野夏橙、大橘、河 内晩柑、ユグヒョウカン 晩白柚、平戸文旦	
34	34	QN (*) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	八朔、ユグヒョウカン 絹川、川野夏橙、大橘、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦	
35	35	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定 比 (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	平戸文旦、八朔、絹川、川 野夏橙 晩白柚、大橘、河内晩柑 ユグヒョウカン	
36	36	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (e) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	晩白柚、平戸文旦、八 朔、川野夏橙 絹川、大橘、河内晩柑	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	PQ (*) (+)	果実の果梗部の 形（ネック、カ ラー及び梗あは 含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (e) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、絹川、大橘 河内晩柑、ユグヒョウカン	
38	38	QL (*) (+)	果実の果梗部の へこみの有無 （ネックが無の 品種に限る。）	<u>Only varieties</u> <u>without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこ みの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚 平戸文旦、絹川、八朔、川 野夏橙、大橘	
39	39	QN	果実の果梗部の へこみの深さ （ネックが無の 品種に限る。）	<u>Only varieties</u> <u>without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこ みの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	川野夏橙、大橘、八朔 平戸文旦、絹川	
40	40	QN	果実の果梗部の 放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射 状溝の多少	観察 (e) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	晩白柚、平戸文旦、八朔、 大橘 絹川 川野夏橙、河内晩柑	
41	41	QN	果実の果梗部の 放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射 状溝の長さ（放射状 溝のない品種を除 く。）	観察 (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (e) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘 晩白柚、河内晩柑、テング	
43	43	QL (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	川野夏橙、テング 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、大橘、河内晩柑	
44	44	QN	果実の果頂部のへこみの深さ	Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果頂部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
45	45	QN	果実の果頂部のへこみの直径	Fruit: diameter of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
46	46	QL	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (e) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、河内晩柑 川野夏橙、大橘 ヤマカン	
47	47	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (e) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	大橘 川野夏橙、ヤマカン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	QN	果実の果頂部の 凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環 の直径（凹環の明瞭 さが無の品種を除 く。）	測定 mm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	川野夏橙、大橘、ヤマシロ	
49	49	QN	果実の花柱痕の 大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱 痕の直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	河内晩柑 八朔、川野夏橙、絹川 晩白柚、平戸文旦、大橘	
50	50	PQ (*) G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の 主な色	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4 5 6 7 8	黄緑 緑黄 淡黄 黄 淡桃 桃 濃桃 黄橙	yellow green greenish yellow light yellow medium yellow light pink medium pink dark pink yellowish orange	晩白柚 平戸文旦 大橘 絹川、八朔、川野夏橙、河 内晩柑	
51	51	QN	果実の表面の光 沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の 光沢の程度	観察 (e) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	晩白柚、平戸文旦、絹川、 八朔、川野夏橙、大橘、河 内晩柑 テング [△]	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	晩白柚、平戸文旦、絹川、大橘、河内晩柑 八朔、川野夏橙 獅子柚、三宝柑	
53	53	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (e) (f) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、三宝柑、ワカシ	
54	54	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	絹川 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、大橘	
55	55	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	マーシュクレープフルーツ チャンドラ、スタービー	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凹無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	晩白柚、平戸文旦、大橘、絹川 八朔、川野夏橙、河内晩柑	
57	57	QN	果実の表面の凹型油胞の密度 (凹型油胞のある品種に限る。)	<u>Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
58	58	QN	果実の表面の凹型油胞の深さ (凹型油胞のある品種に限る。)	<u>Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only:</u> Fruit surface: depth of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の深さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	マーシュクレープフルーツ	
59	59	QN	果実の表面の凸型油胞の密度 (凸型油胞のある品種に限る。)	<u>Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present only:</u> Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN	果実の表面の凸 型油胞の突出の 強弱（凸型油胞 のある品種に限 る。）	<u>Varieties with fruit</u> <u>surface: pebbling on</u> <u>oil glands present</u> <u>only</u> : Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の 凸型油胞の突出の強 弱	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
61	61	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮 の厚さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	八朔、川野夏橙 河内晩柑、大橘、絹川 晩白柚、平戸文旦	
62	62	QN (*)	果皮と果肉の密 着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉 の分離の難易	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	絹川 八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
63	63	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (e) VG	1 2 3	白 淡桃 桃	white light pink pink	晩白柚、大橘 平戸文旦	
64	64	QL	異なる色のさじ ょうの有無	Fruit: differently colored specks in flesh	果肉内の果肉色と異 なる色のさじょうの 有無	観察 (e) (g) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、絹川、八朔、川野 夏橙、大橘、河内晩柑 平戸文旦、チャントラー	
65	65	QL	複色のじょうの うの有無	Fruit: bicolored segments	果実内の複色のじょ うの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、絹川、八朔、川野 夏橙、大橘、河内晩柑、ス タルビー	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66	66	QL	じょうのうの赤色の分布（複色のじょうのうが有の品種に限る。）	<u>Only varieties with</u> <u>Fruit: bicolored</u> <u>segments: present:</u> Fruit: distribution of red coloration	じょうのうの赤色の複色の分布	観察 (e) VG	1 2	全体 主に周縁部	every distributed mainly marginate	チャンドラ、スタールビー	
67	67	PQ (*) G	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (e) (g) VG	1 2 3 4 5 6 7	緑黄 淡緑 淡桃 桃 濃桃 桃白 橙	greenish yellow light green light pink medium pink dark pink whitish and pink orange	マーシュグレイプフルーツ 晩白柚 スタールビー テンク	
68	68	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (e) (g) VG	1 9	無 有	absent present	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙、河内晩柑	
69	69	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (e) (g) VG	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	獅子柚、ヤマブキ 絹川、河内晩柑 八朔、川野夏橙 晩白柚、平戸文旦、大橘	
70	70	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (e) (g) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	河内晩柑 八朔 晩白柚、平戸文旦、絹川、川野夏橙、大橘	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	QN	不完全じょうの うの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの 出現程度の強弱	観察 (e) (g) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	絹川、八朔、川野夏橙、大 橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦	
72	72	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょ うのうの数	測定 (e) (g) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	絹川、八朔、川野夏橙、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
73	73	QN	じょうのう膜の 強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうの う膜の硬さの程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	八朔、川野夏橙、大橘、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
74	74	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	絹川、八朔、川野夏橙、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
75	75	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	晩白柚、平戸文旦、大橘、 河内晩柑 絹川、八朔、川野夏橙	
76	76	QN	さじょうの明瞭 さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明 瞭さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	77	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
78	78	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (e) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	晩白柚、大橘 絹川、八朔、川野夏橙 平戸文旦、河内晩柑	
79	79	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量 (Brix)	測定 % (e) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、 川野夏橙、河内晩柑 大橘	
80	80	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度 (クエン酸)	測定 % (e) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	絹川 晩白柚、八朔、大橘、川野 夏橙、河内晩柑	
81	81	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	絹川、河内晩柑 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、大橘	
82	82	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (e) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	マーシュグレープフルーツ 絹川、八朔、川野夏橙、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
83	83	QL (*)	種子の多胚性の 有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (h) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、大橘、 絹川、八朔、河内晩柑 川野夏橙、マ-シュカ [®] レーブ [®] フルーツ	
84	84	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (h) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユグ [®] ヒョウカン 平戸文旦、絹川、川野夏橙、 大橘、河内晩柑 晩白柚	
85	85	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (h) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	絹川、川野夏橙、八朔、河 内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
86	86	QL	種子の表面の状 態	Seed: surface	成熟種子表面の状態	観察 (h) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
87	87	QN	種子の表面のし わの強弱	<u>Varieties with seed:</u> <u>surface wrinkled</u> <u>only:</u> Seed: prominence of wrinkle	種子の表面のしわの 強弱	観察 (h) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
88	88	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (h) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	絹川 河内晩柑、大橘 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	89	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (h) VG	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple	八朔、川野夏橙 晩白柚、平戸文旦、絹川、 大橘、河内晩柑	
90	90	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	<u>Only varieties with seed: polyembryony present.</u> Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (h) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	川野夏橙、マーシュグ [®] レープ [®] フルーツ	
91	91	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性（開花期が年に2回以上）の有無	観察 VG	1 2	1回のみ 2回以上	flowering once flowering more than once	晩白柚、平戸文旦、絹川、 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑	
92	92	QN (*) G	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、 大橘 川野夏橙、河内晩柑	
93	93	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
94	94	QL (+)	自家不和合性の 有無	Plant: self- incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 17 葉身の先端部の形 Char.17 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

形質 18 葉身の先端の切れ込みの有無 Char.18 Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent



9
有
present

形質 30 花粉の稔性 Char. 30 ([239]): Anther: pollen viability

花蕾の發育過程には変動がある。完全に開花している期間中に觀察する必要がある。2年間の觀察結果から、最も高い値を選ぶ。これが最も高い受粉の可能性を示すことになるからである。

There is variability during development of the floral bud. It must be observed during the period of full flowering. From the two years of observations, the highest value should be taken, as this would indicate the highest potential for pollination.

稔性花粉の割合を決定する方法

Method to determine the percentage of pollen viability

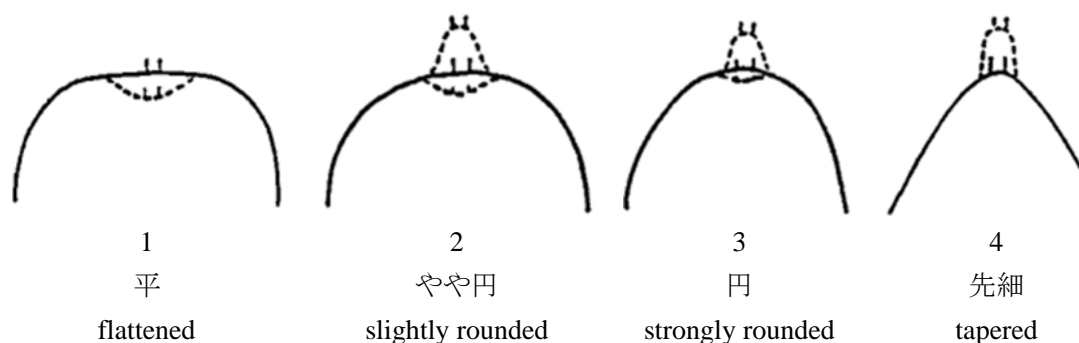
花粉は、花卉が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20～48 時間置く。やくが開いたらこれを 8℃ のチャンバーに移し、相対湿度 70～80% で 1 時間保存する。その後花粉を 2 ml の Brewbacker 培地 (Brewbaker and Kwock, 1963) を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24 °C のチャンバーに入れ、相対湿度 75% で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、2 枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で觀察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8 °C chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24 °C chamber with a 75 % RH for 20 hours.

形質 37 果実の果梗部の形 (ネック、カラー及び梗あは含まない。)

Char.37 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



形質 38 果実の果梗部のへこみの有無（ネックがない品種に限る。）

Char.38 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



1
無
absent



9
有
present

形質 42 果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char.42 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



1
平
flattened



2
やや円
slightly rounded



3
円
strongly rounded

形質 43 果実の果頂部のへこみの有無

Char.43 Fruit: presence of depression at distal end



1
無
absent



9
有
present

形質 47 果実の果頂部の凹環のタイプ

Char.47 Fruit: type of areola



1
平
smooth



2
凹む
grooved



3
盛り上がる
ridged

形質 82 自然受粉の場合の種子数

Char.82 Fruit: number of seeds (open pollination)

任意の品種との自然交配による種子数を調査する。

Open pollination means natural pollination between trees of the any variety.

形質 94 自家不和合性の有無

Char.94 Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

カンキツ属

(カラタチ)

(*Citrus* L. - Group 5)

TRIFOLIATE ORANGE

(案)

カンキツ属（カラタチ）審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科 (*Rutaceae*) カンキツ属 (*Citrus* L.) の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は 1 年生苗木
- ii) 数量 10 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(g)で示した時期に行う。
 - (a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。
 - (b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉について調査する。
 - (c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。
 - (d) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (e) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。
 - (f) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
 - (g) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1 %、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 落葉性 (形質 7)
- ii) 葉の小葉の数 (形質 8)
- iii) 果実の表面の毛じの有無 (形質 72)
- iv) 自然受粉の場合の種子数 (形質 100)
- v) 種子の多胚性の有無 (形質 102)

VI. 特性表で使用する記号の説明

G: グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 疑似の質的形質

(+): VIII. に特性表の説明図等を示す

必須形質: 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質: 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus clementina</i> Hort. ex Tan. x <i>Citrus trifoliata</i> L.	HPO	(クレメンティン×カラタチ)
<i>Citrus limon</i> (L.) Burm. x <i>Citrus trifoliata</i> L.	CTL	(レモン×カラタチ)
<i>Citrus paradisi</i> Macf. x <i>Citrus trifoliata</i> L.	CML	(グレープフルーツ×カラタチ)
<i>Citrus reticulata</i> Blanco x <i>Citrus trifoliata</i> L.	CTI	(ボンカン×カラタチ)
<i>Citrus sinensis</i> (L.) Osb. x <i>Citrus trifoliata</i> L.	CTG	(スイートオレンジ×カラタチ)
<i>Fortunella</i> sp. x <i>Citrus trifoliata</i> L.	HPO	(キンカン×カラタチ)
<i>Citrus</i> x <i>polytrifolia</i> Govaerts	PON	
<i>Citrus trifoliata</i> L.	PON	カラタチ

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	カラタチ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ、ホ [®] メロイ	
2	2	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	ホ [®] メロイ カラタチ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ	
3	3	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	キャリゾ [®] シトレンジ [®] スイング [®] ルシトルメロ、ホ [®] メロイ USDA	
4	4	QN	枝の皮目の強弱	Branch: expression of lenticels	枝の皮目の強弱の程度	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
5	5	QL (*)	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ カラタチ	
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	カラタチ、ホ [®] メロイ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	PQ (*) G	落葉性	Leaf: caducity	1年の生育サイクル における落葉の性質	観察 (b) VG	1 2 3	常緑 部分落葉 全て落葉	perennial partially caducous caducous	キャリゾ [®] シトレンジ、スイング [®] ルシトル メロ カラタチ、ホ [®] メロイ	
8	8	PQ (*) G	葉の小葉の数	Leaf: number of leaflets	葉の小葉の数	観察 (b) VG	1 2 3	1枚 混在 3枚	one only variable three only	キャリゾ [®] シトレンジ、スイング [®] ルシトル メロ カラタチ、ホ [®] メロイ	
9	9	QN	葉身の長さ（複 葉の場合は先端 小葉）	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	スイング [®] ルシトルメロ	
10	10	QN	葉身の幅（複葉 の場合は先端小 葉）	Leaf blade: width (as for 9)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	カラタチ、ホ [®] メロイ スイング [®] ルシトルメロ、キャリゾ [®] シトレン ジ	
11	11	QN	葉身の長さ／幅 （複葉の場合は 先端小葉）	Leaf blade: ratio length/width (as for 9)	成葉の葉身の長さ と幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ホ [®] メロイ キャリゾ [®] シトレンジ スイング [®] ルシトルメロ	
12	12	QN	側小葉の葉身の 長さ（複葉の場 合に限る。）	Leaf blade: length (lateral leaflet in case of compound leaf)	複葉の側小葉の葉身 の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	キャリゾ [®] シトレンジ スイング [®] ルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN	側小葉の葉身の幅（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: width (as for 12)	複葉の側小葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	カラタチ、ホメロイ、キャリゾシトレンジ スイング [®] ルシトルメロ	
14	14	QN	側小葉の葉身の長さ／幅（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: ratio length/width (as for 12)	複葉の側小葉の葉身の長さとの比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ホメロイ キャリゾシトレンジ [®] スイング [®] ルシトルメロ	
15	15	QN	先端小葉と側小葉の長さの比（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: ratio length of blade of apical leaflet/length of blade of lateral leaflet	複葉の頂小葉と側小葉の長さの比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	カラタチ、ホメロイ キャリゾシトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ	
16	16	QN	葉身の横断面の形（複葉の場合は先端小葉）	Leaf blade: shape in cross section (as for 9)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
17	17	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
18	18	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
19	19	QN	葉身の緑色の濃淡	leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	成葉の葉身裏面の 毛じの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ、スイング [®] ルシトルメロ	
21	21	QN	葉身の周縁の波 打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波 打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	カラタチ キャリゾ [®] シトレンジ [®] スイング [®] ルシトルメロ	
22	22	PQ (*)	葉身の周縁の鋸 歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸 歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ、スイング [®] ルシトルメロ	
23	23	PQ (*) (+)	葉身の先端部の 形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の 形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	スイング [®] ルシトルメロ カラタチ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] ホメロイ	
24	24	QL (+)	葉身の先端の切 れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切 れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
25	25	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラタチ	
26	26	QL (*)	葉柄の翼葉の有 無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ、スイング [®] ルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生す る翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	スینگ [®] ルシトルメロ カラタチ、ホ [®] メロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®]	
28	28	QL	つぼみのアント シアニン着色の 有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシア ニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	スینگ [®] ルシトルメロ カラタチ、ホ [®] メロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®]	
29	29	QN	つぼみのアント シアニン着色の 強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシア ニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ホ [®] メロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] カラタチ	
30	30	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
31	31	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ホ [®] メロイ スینگ [®] ルシトルメロ キャリゾ [®] シトレンジ [®]	
32	32	QN	花弁の幅	lower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	カラタチ ホ [®] メロイ、スینگ [®] ルシトルメロ キャリゾ [®] シトレンジ [®]	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁 の長さとの比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ポメロイ シングルシトルメロ、キャリゾシトレ ンジ カラタチ	
34	34	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの 長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ポメロイ カラタチ シングルシトルメロ、キャリゾシトレ ンジ	
35	35	QL	雄ずいの花糸の 色	Stamen: color of filament	雄ずいの花糸の色	観察 (c) VG	1 2	白 ピンク	white pink	シングルシトルメロ、キャリゾシトレ ンジ カラタチ、ポメロイ	
36	36	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	カラタチ、ポメロイ、シングルシトルメ ロ、キャリゾシトレン	
37	37	QL	花粉の稔性の有 無	Anther: viable pollen	稔性花粉の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
38	38	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長 さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラタチ、ポメロイ シングルシトルメロ	
39	39	QL	子房の毛じの有 無	Ovary: pubescence	子房の毛じの発生の 有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ポメロイ、シングルシトルメ ロ、キャリゾシトレン	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	QN (*)	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (d) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラタチ ホメロイ シングルシトルメロ	
41	41	QN	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	カラタチ ホメロイ シングルシトルメロ	
42	42	QN	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の 比	測定 比 (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	カラタチ、ホメロイ、シングルシトル メロ、キャリゾシトレンジ	
43	43	QN	果実の最大幅の 位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大 幅の位置	観察 (d) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	カラタチ、ホメロイ、キャリゾシトレ ンジ、シングルシトルメロ	
44	44	PQ (+)	果実の横断面の 形	Fruit: shape in transverse section	果実の横断面の形	観察 (d) VG	1 2 3	円 やや角張る 波状	circular somewhat angular scalloped	カラタチ、ホメロイ、キャリゾシトレ ンジ、シングルシトルメロ	
45	45	PQ (+)	果実の果梗部の 形（ネック、カ ラー及び梗あは 含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (d) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	カラタチ、ホメロイ、キャリゾシトレ ンジ、シングルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	QL (+)	果実の果梗部の ネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネッ クの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ポメロイ、キャリツ ^o シトレ ジ、スイン ^g ルシトルメロ	
47	47	QN	果実の果梗部の ネックの長さ	<u>Necked varieties only:</u> Fruit: length of neck	果実の果梗部のネッ クの直径	観察 (d) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
48	48	QN	果実の果梗部の ネックの厚さ	<u>Necked varieties only:</u> Fruit: thickness of neck	果実の果梗部のネッ クの厚さ	観察 (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
49	49	QL (+)	果実の果梗部の へこみの有無 (ネックが無の 品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこ みの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、キャリツ ^o シトレジ ^o ポメロイ、スイン ^g ルシトルメロ	
50	50	QN	果実の果梗部の へこみの深さ (ネックが無の 品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこ みの深さ	観察 (d) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
51	51 (+)	QL	果実の果梗部の くびれの有無	Fruit: presence of constriction at stalk end	果実の果梗部のネッ ク基部のくびれの有 無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present		
52	52	QN	果実の果梗部の くびれの強弱	Fruit: expression of constriction at stalk end	果実の果梗部のネッ ク基部のくびれの強 弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少	観察 (d) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	カラタチ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] ホ [®] メロイ、スイング [®] ルシトルメロ	
54	54	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (d) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
55	55	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが有の品種に限る。）	<u>Necked varieties only:</u> Fruit: depression at stalk attachment	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (d) VG	1 2 3	無又は浅 中 深	absent or shallow intermediate deep		
56	56	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] ホ [®] メロイ、スイング [®] ルシトルメロ	
57	57	QN	花盤と果実の間の離層	Fruit: abscission layer between floral disc and fruit	花盤と果実の間の離層の発達の強弱	観察 (d) VG	1 2 3	無又は弱く発達 中間 強く発達	absent or weakly developed intermediate strongly developed		
58	58	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (d) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	カラタチ、ホ [®] メロイ キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	59	QL (+)	果実の果頂部の へこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこ みの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレン ジ、スイング [®] ルシトルメロ	
60	60	QN	果実の果頂部の へこみの深さ	Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果頂部のへこ みの深さ	観察 (d) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
61	61	QL (*) (+)	果実の果頂部の 乳頭状突起の有 無	Fruit: presence of nipple	果実の果頂部の乳頭 状突起の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレン [®] スイング [®] ルシトルメロ	
62	62	QN	果実の果頂部の 乳頭状突起の強 弱	Fruit: prominence of nipple	果実の果頂部の乳頭 状突起の突出の強弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	スイング [®] ルシトルメロ	
63	63	QL	果実の果頂部の 凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状 模様の明瞭さ	観察 (d) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	カラタチ、キャリゾ [®] シトレン [®] 、スイング [®] ルシトルメロ ホメロイ、ヒリュウ、USDA	
64	64	QL (+)	果実の果頂部の 凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環 の状態（凹環の明瞭 さが無の品種を除 く。）	観察 (d) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	ホメロイ、ヒリュウ、USDA	
65	65	QN	果実の果頂部の 凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環 の直径（凹環の明瞭 さが無の品種を除 く。）	測定 mm (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ホメロイ USDA	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66	66	QN	果実の花柱痕の 大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱 痕の直径	観察 (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	スینگ ^ラ ルシトルメ カラタチ、ホ ^ロ メロイ、キャリゾ ^ラ シトレンジ	
67	67	QN	果実の花柱痕の 突出	Fruit: protruding stylar point	果実の花柱痕の突出 程度の強弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	small medium large		
68	68	PQ	花柱の果実への 残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存 の程度	観察 (d) VG	1 2 3	無 部分的に残 る 全体が残る	none partial total		
69	69	QN	果実の果頂部の へその隆起	Fruit: bulging of navel	果実の果頂部のへそ の隆起の強弱	観察 (d) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
70	70	QL	果実の果頂部の 放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射 状溝の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	キャリゾ ^ラ シトレンジ ^ラ 、スینگ ^ラ ルシトルメ ロ カラタチ、ホ ^ロ メロイ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	PQ	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の 主な色	観察 (d) (e) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	緑 黄緑 緑と黄 淡黄 黄 黄橙 橙 濃橙 緑と橙 黄と橙 橙赤 黄と赤 橙と赤	green yellow green green and yellow light yellow medium yellow yellow orange medium orange dark orange green and orange yellow and orange orange red yellow and red orange and red	スィンク [®] ルシトルメ カラチ、ホ [®] メロイ キャリゾ [®] シトレンジ [®]	
72	72	QL (*) G	果実の表面の毛 の有無	Fruit surface: presence of pubescence	果実の表面赤道部の 毛じの有無	観察 (d) (e) VG	1 9	無 有	absent present	キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スィンク [®] ルシトルメ ロ カラチ、ホ [®] メロイ	
73	73	QN (*)	果実の表面の毛 の粗密	Fruit surface: intensity of pubescence	果実の表面赤道部の 毛じの粗密（毛じが 有の品種に限る。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	weak medium strong	ホ [®] メロイ カラチ	
74	74	QN	果実の表面の粗 滑	Fruit surface: roughness	果実の果面赤道部の 粗滑の程度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	キャリゾ [®] シトレンジ [®] スィンク [®] ルシトルメ	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
75	75	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (d) (e) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller one	カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ	
76	76	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	キャリゾ [®] シトレンジ [®] カラタチ、ポメロイ、スイング [®] ルシトルメロ	
77	77	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
78	78	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (d) (e) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凹無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	スイング [®] ルシトルメロ カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®]	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
79	79	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pitting</u> <u>present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
80	80	QN	果実の表面の凹型油胞の深さ（凹型油胞のある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only:</u> Fruit surface: depth of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の深さ	観察 (d) (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
81	81	QN	果実の表面の凸の密度（凸のある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pebbling</u> <u>present only:</u> Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
82	82	QN	果実の表面の凸の突出の強弱（凸のある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pebbling</u> <u>present only:</u> Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
83	83	QN	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (d) (e) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ヒリュウ、ルビトロー カラタチ、キャリゾ・シトレンジ ポメロイ、スィングル・シトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
84	84	QN	果皮と果肉の密着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉の分離の難易	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
85	85	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ（硬さ、ちぎれにくさ）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
86	86	QN	果皮の裏面の油胞の明瞭さ	Fruit rind: conspicuousness of oil glands on inner surface	果皮の裏側から見た油胞の明瞭度	観察 (d) (e) VG	1 2 3	無又はわずかに明瞭 中 明瞭	absent or weakly conspicuous intermediate strongly conspicuous		
87	87	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (d) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 ピンク 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	スィンケ [®] ルシトルメロ カラタチ、ホ [®] メロイ、キャリゾ [®] シトレンシ	
88	88	QN	アルベドの粗密	Fruit: density of albedo	アルベドの粗密の程度	観察 (d) VG	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	カラタチ、ホ [®] メロイ、キャリゾ [®] シトレンジ、スィンケ [®] ルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	89	QN	果実の果肉と密着するアルベドの量（維管束は除く。）	Fruit: amount of albedo adhering to flesh (strands excluded)	剥皮時に果肉に残るアルベドの量	観察 (d) VG	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		
90	90	QL	アルベドの維管束の有無	Fruit: presence of albedo strands	アルベドの維管束の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present		
91	91	QN	アルベドの維管束の量	Fruit: amount of albedo strands	アルベド維管束の多少	観察 (d) VG	3 5 7	少 中 多	small medium large		
92	92	PQ	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (d) (f) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	帯白 淡緑 淡黄 黄 淡橙 橙 濃橙 赤 紫 黄と赤	whitish light green light yellow medium yellow light orange medium orange dark orange red purple yellow and red	カラタチ、ホメロイ、キャリソ [®] シトレンジ、スインゲル [®] シトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93	93	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (d) (f) VG	1 9	無 有	absent present		
94	94	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (d) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	カラタチ、ホメロイ、キャリゾシトレンジ、スインゲルシトルメロ	
95	95	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (d) (f) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
96	96	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (d) (f) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	カラタチ、ホメロイ キャリゾシトレンジ、スインゲルシトルメロ	
97	97	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (d) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
98	98	PQ	果実内部の二次果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の有無	観察 (d) VG	1 2 3	無又は極稀にあり 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレンジ、スインゲルシトルメロ	
99	99	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (d) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	カラタチ、ポメロイ キャリゾ [®] シトレンジ、スインゲルシトルメロ	
100	100	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many		
101	101	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (d) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	キャリゾ [®] シトレンジ スインゲルシトルメロ カラタチ、ポメロイ	
102	102	QL (*) G	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (g) VG	1 9	無 有	absent present	カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレンジ、スインゲルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
103	103	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (g) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラタチ、ホメロイ キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメ ロ	
104	104	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (g) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	カラタチ、ホメロイ キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメ ロ	
105	105	QL	種子の表面の状 態	Seed: surface	成熟種子の表面の状 態	観察 (g) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled	カラタチ、ホメロイ キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメ ロ	
106	106	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (g) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	カラタチ、ホメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ [®] 、スイング [®] ルシトルメロ	
107	107	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種珠皮 の色 7/	観察 (g) VG	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple	カラタチ ホメロイ、キャリゾ [®] シトレンジ [®] 、ス イング [®] ルシトルメロ	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
108	108	PQ	子葉の色（種子 の多胚性が有の 品種に限る。）	<u>Only varieties with</u> <u>seed: polyembryony</u> <u>present</u> ; Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (g) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ、スイング [®] ルシトルメ ロ	
109	109	QL (*)	四季咲き性の有 無	Flowering habit	四季咲き性（開花期 が年に2回以上）の 有無	観察 VG	1 2	1回のみ 2回以上	flowering once flowering more than once	カラタチ、ポメロイ、キャリゾ [®] シトレ ンジ、スイング [®] ルシトルメ ロ	
110	110	QN	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して 食味が最も良くなっ たと考えられる時期	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	カラタチ キャリゾ [®] シトレンジ、スイング [®] ルシトルメ ロ	
111	111	QL (+)	自家不和合性の 有無	Plant: self- incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 樹姿 Char. 1 Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 23 葉身の先端部の形

Char.23 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形



4
円形

形質 24 葉身の先端の切れ込みの有無

Char.24 Leaf blade: emargination at tip



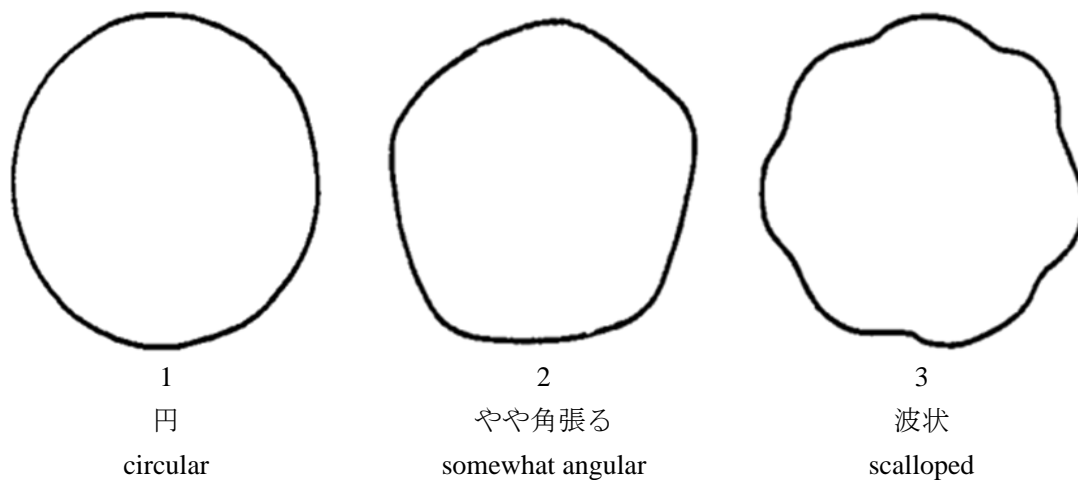
1
無



9
有

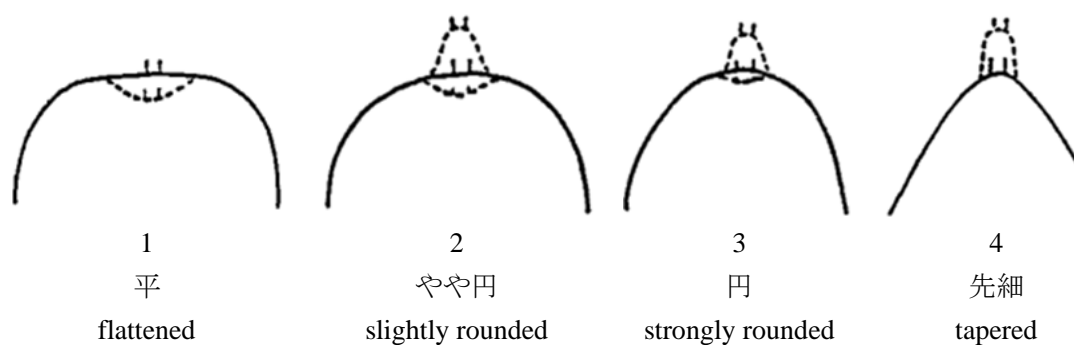
形質 44 果実の横断面の形

Char. 44 Fruit: shape in transverse section



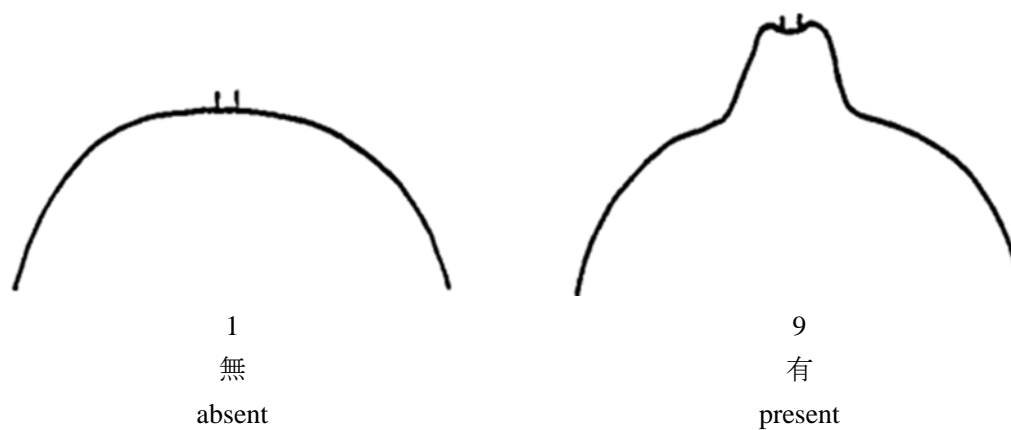
形質 45 果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.45 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



形質 46 果実の果梗部のネックの有無

Char. 46 Fruit: presence of neck



形質 49 果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.49 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end

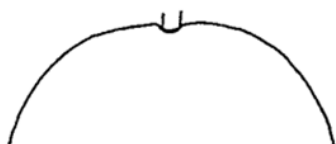


1
無
absent

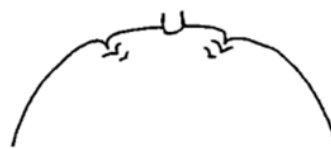


9
有
present

形質 51 果実の果梗部のくびれの有無 Char. 51 ([260]): Fruit: presence of collar



1
無
absent



9
有
present



形質 56 果実の果梗部のカラーの有無 Char. 56 ([260]): Fruit: presence of collar



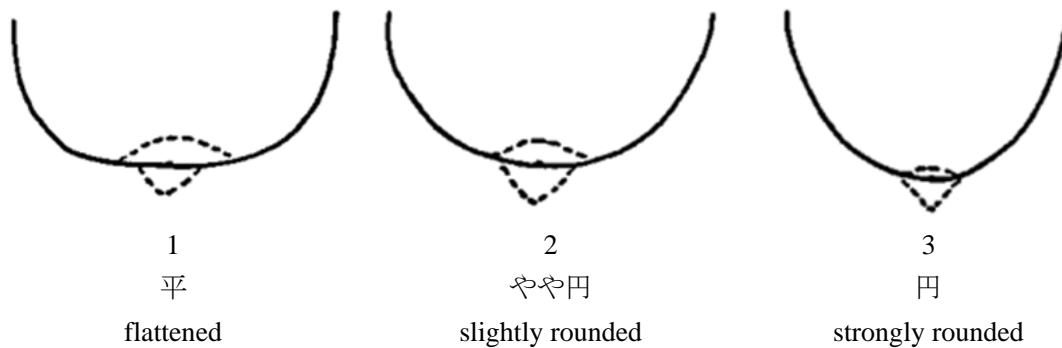
1
無
absent



9
有
present

形質 58 果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char. 58 ([264]): Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



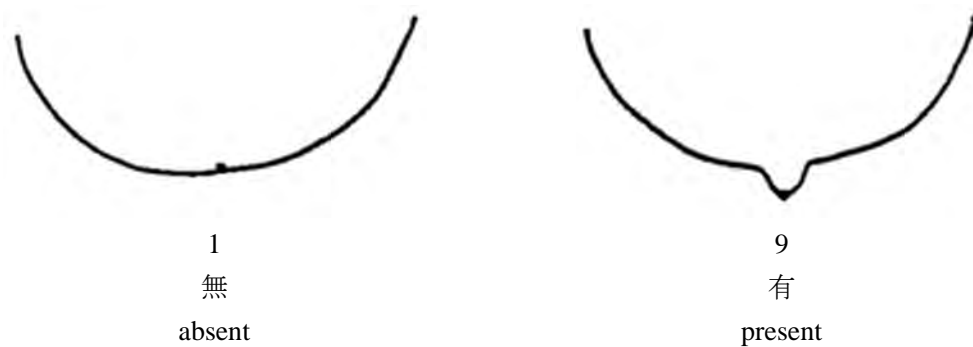
形質 59 果実の果頂部のへこみの有無

Char.59 Fruit: presence of depression at distal end



形質 61 果実の果頂部の乳頭状突起の有無

Char. 61 Fruit: presence of nipple



形質 64 果実の果頂部の凹環のタイプ

Char.64 Fruit: type of areola



1
平
smooth



2
凹む
grooved



3
盛り上がる
ridged

形質 100 自家受粉の場合の種子数

Char. 100 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 101 自然受粉の場合の種子数

Char.101 Fruit: number of seeds (open pollination)

任意の品種間の自然交配による種子数を調査する。

Open pollination means natural pollination between trees of the any variety.

形質 111 自家不和合性の有無

Char.111 Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.